



神奈川県  
教育委員会

わたくしたちの

# 生活と進路

平成30年度 ● 2018

# はじめに

中学1年生のみなさん、入学おめでとうございます。

今、みなさんは、新しい環境で中学校での学習や生活に対する期待と不安でいっぱいでしょう。中学校の3年間は、外見上の変化だけではなく、精神的にも大きく変化をするときです。

みなさんが充実した学校生活を送るために、この資料では、日々の生活や地域のこと、「学ぶ」ということや「自分を知る」こと、職場体験をとおして学ぶことなど、将来の夢や進路について、中学校3年間をとおして各学年で活用できるように編集されています。

中学校で進路について学習することは、<sup>しょうがい</sup>生涯にわたってよりよく生きることができるよう能力や態度を身に付けることです。そのためには、一人ひとりが自分自身を見つめ、自分の生き方について考え、将来に対する目的意識をもつことが必要です。そして、自然体験活動や社会体験活動、職業にかかわる体験活動などに積極的に取り組み、友人や上級生・下級生、先生や保護者、地域の方々など、多くの人たちとの交流をとおして、様々な価値観や考え方、生き方を学ぶことが大切です。

みなさんは、これからの中学校生活の中で、学習や進路、自分自身のことについて大いに考え、悩むことでしょう。そうしたときに、みなさんがこの資料を参考にして、自らの生き方について広く深く考えていけることを願っています。ぜひ、自らの成長のために活用してください。

平成30年4月

神奈川県教育委員会教育局支援部<sup>しえん</sup>子ども教育支援課長

## もくじ

### はじめに

- 1 充実した学校生活をめざして…………… 1－1～4
- 2 自分の生活を振り返る…………… 2－1～2
- 3 「学ぶ」ということ…………… 3－1～2
- 4 地域の人たちとのふれあい…………… 4－1～2
- 5 自分を知る…………… 5－1～4
- 6 夢の実現に向けて…………… 6－1～2
- 7 職業について知る（職業と資格）…………… 7－1～2
- 8 働く人から学ぼう～職業講話・職場体験などを通して～…………… 8－1～2
- 9 生き方を求めて…………… 9－1～2
- 10 「社会に出る」ということ…………… 10－1～4

### [資料編]

- 11 高等学校の種類と学習内容…………… 11－1～3
- 12 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の概要…………… 12
- 13 特別支援学校の概要…………… 13
- 14 専修学校・各種学校など…………… 14
- 15 就学援助制度…………… 15－1～3
- 16 神奈川県公立高等学校一覧…………… 16－1～3
- 17 神奈川県公立高等学校にかかる諸経費等…………… 17
- 18 公募を行う県内の私立高等学校一覧・専修学校高等課程一覧…………… 18
- 19 県内の特別支援学校一覧…………… 19－1～2
- 20 県立中等教育学校一覧・県立職業技術校等一覧  
・県内のハローワーク所在地一覧…………… 20
- 21 県内の教育相談機関…………… 21

# 1 充実した<sup>じゅうじつ</sup>学校生活をめざして

新しい気持ちで、期待に胸をふくらませ、中学校生活がスタートしました。これからの3年間を充実したものにするためには、どのようなことを心がけて生活をしていったらよいのでしょうか。

## 1. 自分の夢や希望を大切にしよう。

豊かで充実した中学校生活を送るためには、夢や希望をもち、学習や様々な活動に積極的に取り組んで、自分自身の可能性を伸ばしていくことが最も大切なことです。



あなたの「中学校生活への夢や希望」を書いてみましょう。

--

## 2. 様々な活動に<sup>ちょうせん</sup>挑戦しよう。

中学校には、教科の学習はもちろん、生徒会活動、体育祭・文化祭・学習発表会といった学校行事、部活動など、様々な活動の場面があります。そのような場面で、仲間とともに活動することで信頼関係を深めることができるでしょう。

また、力を合わせて一つの目標を成し遂げたときの達成感や喜びは、次の目標に向かって挑戦しようとする新たな気持ちを生み出します。様々な活動に取り組むことで得られる経験は、自分の成長につながる貴重なものとなり、中学校生活の大切な思い出になることでしょう。

あなたも、失敗を恐れず、様々な活動に積極的に挑戦してみましょう。仲間や先生、家族などの多くの人があなたを支え、協力してくれるはずです。



中学校で「こんな活動に挑戦してみたい」と思うことを書いてみましょう。

家庭や地域の中で	学校生活の中で

### 3. 思いやりの心を大切にし、仲間とともに生活しよう。

学校では、それぞれ違った個性をもった人が生活をともにしています。多くの人の考え方を  
知<sup>ちが</sup>ることは、これから社会の一員として自立するあなたにとって、とても大切なことです。

まず自分自身を知り、自分のよいところを見つけましょう。そして、人と人とのふれあいを大  
切にする人間関係を、自分からつくっていきましょう。そのためには、周りの人のよいところも  
見つけ、互<sup>たが</sup>いを理解し、認め合い、協力しながら生活していくことが大切です。個性を尊重し、  
互いに思いやる心を大切にする<sup>たが</sup>ことで、あなた自身の個性を一層伸ばすことができるはず<sup>たが</sup>です。

### 4. 基本的な生活習慣を身に付けよう。

「基本的な生活習慣」とは、何でしょうか。簡単に言うと、「よりよい生活を送るために必要  
であり、身に付けておくもの」のことです。「基本的な生活習慣」は、自分自身で意識して、毎  
日の生活の中でしっかり身に付けていくことが大切です。次の項目は家庭・地域や学校生活で大  
切<sup>こうもく</sup>な項目です。



次の項目をチェックしてみましょう♪ (身に付いていれば、□にレ点を！)

#### ◎家庭や地域の中で

- 毎日規則正しい生活を送る。
- 家の手伝いを進んで行う。
- 社会のルールやマナーを守る。
- 

#### ◎学校生活の中で

- 時間を守って行動する。
- 忘れ物をしないようにする。
- 自分の役割を自覚し、積極的に取り組む。
- 学校のルールや約束を守る。
- 

しっかりできて  
いない項目は、こ  
れから努力しまし  
よう。

また、このほか  
にも考えられる項  
目があれば書いて  
みましょう。



あなたの考えを家族の人たちに話し、アドバイスをもらいましょう。

家族からのアドバイスとあなたの感想を書きましょう。

## 《2年生になって》

### 新たな気持ちで様々な活動に挑戦しよう。

中学校生活も2年目となり中堅の学年として中学校生活のターニングポイントとなる節目の学年になりました。何事にもやる気に満ちあふれ、先輩になる喜びを感じた人もいるでしょう。学校生活にも慣れ、学習、定期テストはもちろん、生徒会活動、体育祭・文化祭・学習発表会といった学校行事、部活動などの様々な活動を経験してきました。

今日感じた新鮮な気持ちを大切にしながら、新たな気持ちで様々な活動に挑戦したいと思うことを書いてみましょう。また、家族の人たちにあなたの考えを読んでもらい、アドバイスをもらいましょう。



新たな気持ちで「こんな活動に挑戦してみたい」と思うことを書いてみましょう。

家庭や地域の中で	学校生活の中で



あなたの考えを家族の人たちに話し、アドバイスをもらいましょう。

家族からのアドバイスとあなたの感想を書きましょう。

## 《3年生になって》

### 新たな気持ちで様々な活動に挑戦しよう。

いよいよ3年生となりました。生徒会活動、体育祭・文化祭・学習発表会といった学校行事、部活動などの様々な活動のリーダーシップをとる立場となります。そして、中学校生活最後の年となります。ひとつひとつの活動を大切に、思い出に残る素敵なものにしていきたいですね。

また、今年度は進路選択<sup>せんたく</sup>の年となります。授業での学習はもちろん、自分に合った家庭学習が充実<sup>じゅうじつ</sup>できるよう工夫して時間を使いましょう。

家庭や地域・学校生活の各々の場面で、中学校生活で挑戦しておきたいと思うことを書きましょう。また、家族の人たちにあなたの考えを読んでもらい、アドバイスをもらいましょう。



最後の中学校生活で「挑戦しておきたい」と思うことを書いてみましょう。

家庭や地域の中で	学校生活の中で



あなたの考えを家族の人たちに話し、アドバイスをもらいましょう。

家族からのアドバイスとあなたの感想を書きましょう。

## 2 自分の生活を振り返る

家に帰ってからどのように過ごしていますか。「勉強をしよう」と思いながらも、何となく時間を過ごしてしまうことはありませんか。しかし、中学生になると、今まで以上に時間を意識して生活することが求められます。自分の目標を実現するためにも時間をうまく活用する必要があります。充実した時間を過ごすためにはどうしたらよいのでしょうか。

### 家庭での過ごし方を振り返ろう

中学生になって学級での活動や部活動・委員会活動などが忙しくなり、帰宅時刻も遅くなったことでしょうか。下校後の時間をどのように使っていますか。昨日の生活を振り返ってみましょう。



#### 振り返ってみよう

帰宅した時刻 ( 時 分)

- ・学習の時間(宿題や授業の予習・復習など) ( 時間 分)
- ・生活の時間(食事・入浴など) ( 時間 分)
- ・家の手伝いの時間 ( 時間 分)
- ・その他の時間(テレビ、読書、音楽鑑賞など) ( 時間 分)
- ・塾や習い事など家庭以外での時間 ( 時間 分)

就寝時刻 ( 時 分)

時間の使い方を振り返って気が付いたことを書いてみよう。

### 決めたことを続ける！

目標を実現するために大切なことは、「いつまでに、何をするか。」を決めて実行することです。また、どんなことでもよいから、「責任」をもって人のために行動をし続けることも大切です。中学校の三年間を終えると、一人ひとりがそれぞれ選択した道を歩んでいきます。そのときになって誰かに自分の進路を任せたり、思い通りにならないことを誰かのせいにしたりすることがないように、まずは時間の使い方を意識して生活しましょう。

今の自分の状況を振り返り(学習状況・生活面)から考えて……。



#### 自分の目標を宣言しよう！

学 習 面  
今日から私は  します！

生 活 面  
今日から私は  します！

※「〇〇までに◇◇します」のように書いてみよう。

## 下校後の家庭での過ごし方を考えよう

現在、テレビやゲーム以外にも友人とのメールやインターネットなどに多くの時間をかけるという調査結果があります。「この時間帯は、ゲームなどをやらない」など、自分なりのルールを決め、行動に優先順位をつけるなどの工夫と計画、そして実行することが必要です。

次の点を考えながら、家庭での過ごし方を設計してみましょう。

- ① 学習の時間(宿題や授業の予習・復習など)
- ② 生活の時間(食事、入浴など)
- ③ 趣味・その他の時間(テレビ、読書、音楽鑑賞など)
- ④ 家の手伝いの時間(お風呂洗い、食器洗い、洗濯など)
- ⑤ 就寝時刻 ※生活リズムをくずさないよう、決まった時間に就寝・起床をしよう。

の日(例:習い事のある日など)

17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

の日

17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

## 自分の行動を振り返って、実り多いものに

長続きの秘けつは、毎日の成果を表や日記に書くことで、自分の行動を振り返る機会をもつことです。前日に翌日の目標・すべきことを記入し、一日の終わりに振り返りをしてみましょう。

例)計画通りにできたら「○」、できなかったら「△」を自己評価の( )に書こう。

		学 習	取り組めることや手伝いなど
月 日 曜日	目標等		
	振り返り	自己評価( )	自己評価( )

### 3 「学ぶ」ということ

「何のために勉強するのかな」「なぜ勉強しなければいけないのかな」などと思うことはありませんか。

また、「学ぶ」ことは、自分自身にとってどんな意味があるのでしょうか。少し考えてみましょう。



私たちが勉強する理由について話し合ってみましょう。

『あなたは今、何のために勉強しているのでしょうか。』

自分の考えに近いものを3つ選びましょう

- |                                                      |                                            |
|------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 希望する職業に就くために必要だから         | <input type="checkbox"/> 6 勉強すること自体が楽しいから  |
| <input type="checkbox"/> 2 自分の力や教養を伸ばしたいから           | <input type="checkbox"/> 7 「勉強しなさい」と言われるから |
| <input type="checkbox"/> 3 自分の将来に、役立つと思うから           | <input type="checkbox"/> 8 中学生は勉強すべきだと思うから |
| <input type="checkbox"/> 4 定期試験で力を出したいから             | <input type="checkbox"/> 9 周りの人に認められたいから   |
| <input type="checkbox"/> 5 高校や大学、専門学校などに進学するために必要だから | <input type="checkbox"/> 10 その他 ( )        |

#### 聞いてみよう【事前課題】

身近な大人おとなに聞いて、その内容をメモしましょう。

『なぜ中学生は勉強するのか。』

(聞いた人 ; )

#### 話し合ってみよう

「友人の考え」や「身近な大人の話」を聞いて、私たちが勉強する理由をまとめてみましょう。

#### 中学校で「学ぶ」ということは…

中学校での「学ぶ」とは、次のようなことが重要となります。

- ・小学校で学んだことをもとにして、社会の一員として必要なことを身に付けること。
- ・職業の意義や役割について考え、自分にふさわしい進路を選ぶようにすること。
- ・学校内外の活動に積極的に参加し、正しい判断ができるようにすること。

中学校での様々な「学び」は、これからの人生をより充実したものにするための知識や知恵となります。自分自身を高め、よりよい社会をつくるためにも考えていきましょう。

#### 振り返ってみよう

『あなたはどんな場面で学んでいると思いますか？』

学校で…

学校外で…

資料

「好きなこと、興味をもったこと」からスタート

あなたには、好きなことや、もっと深く知りたいと思っていることはありませんか。学校のほかにも学ぶ場や機会はたくさんあります。自分の好きなことや不思議だなと感じたことについて、図書館や博物館などに行き調べたり、インターネットで調べたり、体験したりしてみましょう。

実際に体験することはとても大切なことです。新しく発見することや学ぶことの楽しさを味わうと、もっと詳しく学びたいという気持ちが出てくると思います。

はじめは興味がなかったことでも、体験や人との出会いによって、興味がわいたり、あなたの人生が大きく変わったりすることもあります。

卒業生に聞こう！

＜お菓子づくりが趣味だったAさん＞

私は中学校時代、お菓子づくりが好きで、試作品をつくっては身近な人に試食してもらっていました。

現在は専門学校の先生としてお菓子づくりの指導をしながら、日々を楽しんでいます。



＜スポーツが得意だったBさん＞

私は中学校時代、部活動に一生懸命励みましたが、自己流でトレーニングをしていたので、高校では専門的に取り組みたいと考え、授業でスポーツ理論を学ぶことのできる高校に進学しました。進学先ではスポーツに集中することができ、充実した毎日を過ごしています。



学校で学んでいることのほかに、あなたや友達が興味をもっているもの、おもしろそうなもの、もっと知りたいと感じているものには、どのようなものがありますか。

〈自分〉	〈友達〉
------	------

話し合ってみよう

このことから、たとえばどんな職業が考えられるでしょうか？



Blank box for discussion notes.

ずっと続く「学び」…「生涯学習」

「学ぶ」ことは学校を卒業すると終わるわけではありません。社会の一員として自立した生活をするには、新しい知識や技術、考え方を身に付ける必要があります。また、自分の生きがいや心の豊かさを求めて新しいことながら「学ぶ」ことも大切です。学校で「学ぶ」ことに限らず、社会に出て働くことや興味のあることなどについて、自ら学んでいくという「生涯学習」の考え方が欠かせません。

これからの人生を、充実して過ごすためにも「なぜだろう」という疑問を大切に、自分から進んで、「学び」・「考え」・「行動しよう」とする姿勢をもち続けましょう。

＜英語力を伸ばしたいCさん(35歳)＞

仕事上、英語が必要で、はじめのうちは苦労していました。2年前から、仕事が終わった後、英会話の教室に通って勉強しています。以前よりも仕事に生かせる機会もふえてきました。もっと上手に話せるようになりたいと思っています。

＜パソコンを勉強するDさん(70歳)＞

パソコンの勉強をしています。仕事で使っていたころとは違う使い方を、本を読みながら勉強しています。毎日、新しい発見の連続です。



## 4 地域の人たちとのふれあい

私たちは地域で多くの人たちとかかわりながら生活しています。地域の人たちとのふれあいを通して学んだことや感じたことを発表しあい、地域の人たちとふれあう上で心がけたいことについて考えてみましょう。

### 地域にはどんな活動や交流の場があるか確認しよう ～地域を知る～

私たちが毎日生活している地域には多くの人々が住み、よりよい町づくりをめざして多くの活動が行われています。例えば、祭り・踊りなどの伝統行事、清掃などの奉仕活動、高齢者との交流会、町内会での防災訓練など、様々なものがあげられます。

みなさんの地域にはどんな活動がありますか。

みんなで考えてみよう



学級で、地域の活動をできる限りたくさんあげてみましょう。

(メモ：地域で行われている活動の例) 空き缶集め



自分が参加した活動や交流について感じたことや学んだことを、例を参考にして簡単に書きましょう。

活動名	参加して感じたこと・学んだこと
例) 相模川クリーン作戦	思った以上に空き缶などが多かった。バーベキューなどの後始末ができていないことがわかった。でも、きれいにしようという人がたくさんいた。参加してよかった。

## 参加した地域の活動について発表しよう ～体験を語る～

### 班で発表しよう 友達の発表について質問してみよう



左のページのメモを参考に、自分の活動体験について班になって発表しましょう。  
また、友達の発表で興味をもった活動について下の表にメモしましょう。

活動名	印象に残ったこと・学んだこと

## 地域の人とのふれあい方について考えよう ～自分を振り返る～



地域の活動に参加することで、今まで以上に地域の人々が身近になる機会があることを学んだことでしょうか。地域の人と接するときにはどんなことに気が付いたらよいでしょうか。

学級で話し合い、まとめてみましょう。

## 5 自分を知る

自分の個性やよさに自分自身で気付くことは大切なことだといいますが、どうすれば自分の個性やよさを見つけることができるのでしょうか。

だれ誰にでも、その人にしかない個性やよさがあります。でも、自分自身で気付くことは難しいことです。自分の個性やよさを知る一つの方法として、自分のポートフォリオを作成することができます。

ファイルを用意しよう

### ポートフォリオとは？

紙ばさみとか書類カバンを意味する言葉です。自分がこれまで行ってきた活動などを一つのファイルなどにまとめたものをポートフォリオといいます。まず自分についての資料をできるだけたくさん集めましょう。

### 集めてみよう

ポートフォリオに入れるものは、自分に関連があるものなら何でもよいのです。小さいころの写真や幼いころのことを記録したもの、他にも、自分が大切にしていたものや好きだったおもちゃ、小学校のときの作文や作品など・・・

探してみると、いろいろなものが見つかります。そのほかに、自分で地道に続けている活動の中にも、自分らしさを知る手がかりはたくさんあります。



### ポートフォリオの項目こうもく（例）

- 思い出の作品（絵、作文など）
- 得意なこと
- 得意な教科
- アルバムの中から思い出の場面
- 文集の中から将来の夢
- 大切なもの
- 表彰ひょうしょうされたもの

写真や絵など

写真や絵など

## 身のまわりのもの・ことを手がかりに

自分らしさを知る手がかりになるものは、身のまわりにたくさんあります。いろいろなもの・ことの中から“自分らしさ”を見つけてみましょう。

また、家族の人に、昔のエピソードなどを聞いてみるのも良いでしょう。



### ポートフォリオのまとめ

○思い出の作品（絵、作文など）	（	）
○得意なこと	（	）
○得意な教科	（	）
○アルバムの中から思い出の場面	（	）
○文集の中から将来の夢	（	）
○大切なもの	（	）
○表彰されたもの	（	）
○好きな言葉・印象に残っている言葉	（	）
○		
○		

## 中学校の活動の中からさがしてみよう

中学校3年間の活動の中にも、自分らしさが見つかるはずです。これまでの中学校の活動を記録してみましょう。



	1 年	2 年	3 年
委員会活動			
係活動			
体育祭			
文化祭			
合唱祭			
部活動			
ボランティア活動			
地域での活動			



## 自分の個性やよさをまとめてみよう

ポートフォリオからは、小さいころから<sup>けいぞく</sup>継続して好きだったことや自分の得意だったことがはっきりしてくるでしょう。また、友達から見た自分には、新しい発見があるかもしれません。これらを参考に、自分の個性やよさをまとめてみましょう。



	ポートフォリオから分かったこと	友人から見た自分
よいところは		
好きなことは		
<sup>しゅみ</sup> 趣味は		
特技は		
得意な教科は		
楽しかった思い出は		
頑張っていることは		

## 自己PRをしてみよう

ポートフォリオを通して自分の活動や経験<sup>ふ</sup>を振り返ることで、自分の個性やよさについてより深く理解することができたと思います。自分自身をPRするつもりで文章にまとめてみましょう。また、その中から自分の将来の進路に結び付くものがないか、探してみましょう。



	〈自己PRの例〉
	○私はよくまわりの人から「明るいね」と言われます。友達が落ち込んで <sup>こ</sup> いるときには、元気が一番だと思い、明るく励 <sup>はげ</sup> まします。また、地域の方にも自分からあいさつをするように心がけ、今では地域の方々との会話も増えました。
	○私の家の近くには <sup>こうれいしゃふくし</sup> 高齢者福祉総合施設 <sup>しせつ</sup> があり、小学生のころから利用者の方と交流をしてきました。その中で、介護福祉士 <sup>かいご</sup> の方々が生き生きと仕事をされている姿にあこがれて、自分も介護福祉士になりたいと思うようになりました。

## 6 夢の実現に向けて

みなさんは、夢やあこがれはたくさんありますか。自分の将来のことについて、具体的に考えたことがありますか。夢の実現に向けてどのようなことに取り組んでいくとよいのでしょうか。

### 人生の先輩から

身近な「人生の先輩から」の文章を読んでみましょう。

私は、交番に勤務している警察官です。毎日、住民の方の相談や落とし物の対応、道案内などでいろいろな人と接するときに、相手の立場に立って、親切な対応を心がけています。パトロールも重要な仕事のひとつで、事件があればいつでも駆けつける体制をとっています。他にも仕事がたくさんありますが、どれも住民一人ひとりの安全な生活を守る仕事です。いつも平和な町づくりのために働きたいと思っています。

この仕事に就きたいと考えたのは中学生のときで、「自分自身が直接、社会のためになる仕事をしたい」と思ったからです。実際に仕事に就いてみると「人のためになる」ということは本当に難しいことだということも分かりました。また、社会的な責任の重さは、実際に働いてみて分かったことです。

いろいろと大変なことはありますが、やりがいもありますし、この職に就いてよかったと思っています。

みなさんと同じ年ごろには、様々な夢をもつものです。大人になってから、夢を実現させた人もたくさんいます。みなさんのまわりにもそのような人がいるはずですが、実現までの長い道のりの中には、きっと様々なことがあったことでしょう。

夢を実現させた人たちは、ちょうどみなさんと同じ年ごろのとき、どのようなことを考え、行動していたのでしょうか。「先輩の人生から自分の未来を探ること」は大切なことです。

### 「見つめること」が未来への第一歩

自分の未来を切りひらくためには、今の自分を振り返り、自分自身をしっかり見つめて、自分のもっている「可能性」を伸ばすことが大切です。今の自分を振り返ることは、自分が将来何になりたいか、自分はどんな可能性をもっているかなどを知ることにつながります。

今の自分を見つめてみましょう。《こんなことに夢中です》というものは何ですか。



### 考えてみよう！これからの自分

今の自分を見つめてみることはできましたか。次は、自分の未来を予想してみましょう。みなさんは「人生」という舞台の主人公です。自分の舞台を自分の手で作りあげていくためには、しっかりした設計をすることが大切です。自分はどのような可能性をもっているか、将来何になりたいのかなど、自分の未来の予想図を考えてみましょう。

### 〈自分の未来は自分でつくる〉



それぞれの年齢ねんれいのとき、「何をしているか」、「何を頑張がんばっているか」  
「決断やチャレンジしたいことは何か」、「努力していることは何か」、  
「大切にしていることは何か」などを書いてみましょう。

年 齢	-----
15	中学校卒業
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----

### 「進路の学習」そのものが「生き方の探究」

「進路の学習」とは、どのようなことでしょうか。近い将来の進学や就職について学んだり、考えたりすることは大事なことです。同時にそれは、「どのように生きていくか」つまり「生き方の探究」そのものです。未来に向かって「自分の可能性を伸ばす」ことも、少し立ち止まって「今の自分を振り返り、自分を見つめる」こともどちらも大切なことです。

## 7 職業について知る（職業と資格）

みなさんはどんな職業に興味がありますか。世の中には様々な職業がありますが、どのような職業があり、どうしたら就けるのか、資料などを用いて調べてみましょう。

職業を知るには働く人の話を聞いたり、職場を見学したりする方法があります。ここでは図書やインターネットなどの資料を利用して、興味のある仕事について調べてみましょう。

### 興味のある職業をあげてみましょう



ある職業を表に記入し、仕事の内容も簡単に書いてみましょう。

職業	仕事の内容	職業	仕事の内容
(例) 獣医師	動物の病気を治療する		

### たくさんある職業を、いくつかの分野にまとめてみましょう



上の表の職業を発表しあい、関連する分野にまとめてみましょう。

分野	職業	分類のときに気付いたこと
(例) 病院	医師、歯科医師、看護師、作業療法士、薬剤師	病院で働く人の職業にもいろいろある。資格が必要。

職業には専門的な知識や技能を必要とし、専門の学校で学んだり、試験に合格したりするなどして免許や資格を取らなければ、就けないものもあります。

## 免許や資格



分類した職業について、免許や資格が必要なものを選び、就くための方法を調べてみましょう。

友達と分担して、図書やインターネットで調べてみましょう。

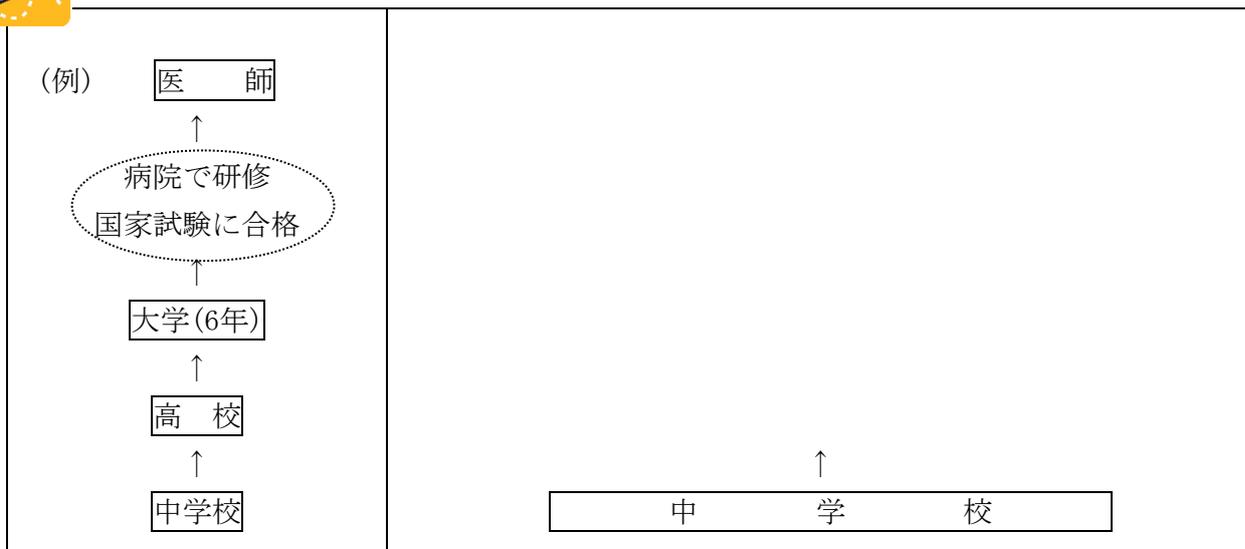
職業	免許・資格など	免許や資格を取る方法
(例) 看護師	看護師免許	看護専門学校や大学などで勉強し、国家試験に合格する。

## 中学生から職業人への道



中学校を卒業して、職業に就くまでの道のりを図で表してみましょう。

(就くための道は1本ですか？ いくつあるか調べてみましょう。)



## 職業と資格を調べて…

自分の興味から出発して職業の世界を調べ、友達と交流しました。学習を振り返って、分かったことや感じたことを整理してみましょう。

振り返ってみよう



## 8 働く人から学ぼう ～職業講話・職場体験などを通して～

職業講話や職場体験活動などを通して、社会の中で活躍する人々に接し、みなさんは働くことの喜びの大きさや責任の重さなど、たくさんのことに気付いたことでしょうか。今回は学んだことを友人と発表しあい、職業に対する考えを深めましょう。

### 職業講話から学んだこと



#### 話し合ってみよう

講話をしてくださった方の職業はなんですか。仕事の内容や気付いたことを下の表に整理して記入し、友達と発表しあいましょう。

	講師①	講師②
職業		
仕事の内容		
仕事のやりがい		
大変だなと感じたこと		
その他感じたこと		



#### まとめてみよう

友達の発表を聞いたり、自分が発表したりしたことで、新たに感じた疑問や深まった考えを書いてみましょう。

職場体験で接した人々の姿にふれて、「すてきだな」と感じたことや「私もこんな仕事してみたいな」と感じたことが多く見つかったことでしょう。

### 職場体験を終えて



職場体験で出会った素晴らしい出来事をみんなに伝えましょう。

職場体験のエピソード  
しょうかい  
を紹介してみよう

### 『働くこと』とは

働くことにはどんな意義があるのでしょうか。  
また、中学生の今、できることは何でしょうか。  
自分の考えをまとめてみましょう。



『働くこと』とは？ 自分の  
考えをまとめてみよう

## 9 生き方を求めて

私たちはこれまで、身近な人々に職業インタビューをしたり、その道のプロの方から仕事について教えていただいたりする中で、その仕事の意義や、やりがい、苦勞、そして、その職に就くまでにたどる道のりを学びました。仕事の中には、今、しっかり勉強して、大学に行かなければ、その職業に就けないものや、高校を出てから専門学校で学ぶ方法があるもの、技術を直接教わらないとできないものなど、具体的なことも学習しました。

ここでは、今までの学習から得たことを生かし、自分らしい生き方を見つけるために「働くことの意義」や「今の自分に必要なもの」「これからの学校生活に生かせること」を考えてみましょう。

### 働くことってどんなこと

近い将来みなさんは社会に出て働きますが、学校で過ごした時間より、はるかに長い年月を社会人として過ごします。よりよい人生を送るためには、しっかりした夢や目標をもって職業に就くことが大切です。今から少しずつ目標を考えていきましょう。



将来、どのような職業に就きたいと思いますか。

◎あなたは、職業を選ぶとき、何を優先しますか。上位3つをあげてみてください。また、その理由を書いてみましょう。

- Ⓐやりがい Ⓑ給料 Ⓒ楽しさ Ⓓ特性、能力（専門性） Ⓔ働く時間 Ⓕ安定  
Ⓖ職場の雰囲気 Ⓗその他（ ）

☆1位 \_\_\_\_\_

☆2位 \_\_\_\_\_

☆3位 \_\_\_\_\_

「理由」→



話し合ってみよう

あなたの選んだ「理由」を班の人と話し合い、気付いたことをメモしましょう。



発表してみよう

あなたの班の中で、一番多く選ばれた優先する内容を発表してみましょう。また、発表を聞いて気付いたことをメモしましょう。

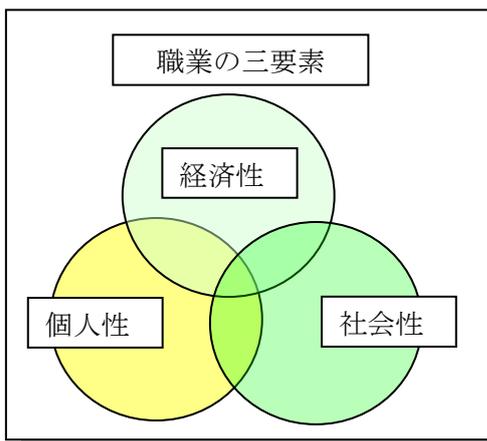


## 振り返ってみよう

友達の意見を聞いてみて、あなたの優先する内容は変わりましたか。変わった人は、その理由を書いてみましょう。

## 『人はなぜ働くのか？』

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。「働く喜びを知る」ということが、「意欲をもって生きていく」ことにつながります。衣食住を満たすための経済性を求めるだけでは、心身ともに充実した生活を送ることはできません。職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいをもちながら、実りあるものにする事」であり、「社会性」とは、「勤労によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見すえながら判断することです。



## よりよく生きるために

「今の自分に必要なこと」、「これからの学校生活で大切なこと」は何かなど、将来に向けての目標や生きがいをもつことが大切です。これからの自分に必要なことや将来に向けて大切なことは何なのかを考え、書いてみましょう。



## 夢をもって働くために

職業に就けば、その中で様々な困難や苦労もあることでしょう。しかし、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを得ることもできます。私たちの先輩たちは、「職業人」として希望や意欲をもって「自分の力を伸ばしたい」「夢を実現したい」と努力を重ねています。また、その職業を選んだことに誇りをもち、将来の自分の姿を見すえ、困難に負けずに自分の人生を切り開いていこうとしています。

# 10 「社会に出る」ということ

「社会に出る」とは、どういうことでしょうか。中学校在学中と卒業後では、いったい何が違うのでしょうか。就職する場合を中心に、心構えについて考えてみましょう。

## 「社会に出る」ということ

「社会に出る」ということは、学校教育を終え、自分で選択した進路に向かって一步を踏み出すということです。

就職する場合、働くことにより収入を得るわけですから、職業に対する自覚や責任、視野の広さや礼儀正しさ、適切な人間関係づくり、常識ある言動といった社会人としてのモラルが求められます。また、よりよい社会づくりに貢献することも働く目的の一つであり、社会の役に立つことができる喜びを味わえるのは大きな魅力です。将来に向かい、自分が選んだ職業に誇りをもって、「このような職業人になりたい」という具体的な目標に向かい努力を積み重ねていくことが、自分の能力をさらに伸ばすこととなります。

したがって、就職することは、自分の将来にとって重要な問題です。自分の将来の生活設計をしっかりと立て、よく考えて職業を選ぶようにしましょう。

## ○中学校卒業後の就職方法

就職の方法は主に2つあります。

<① 中学校を通してのハローワーク（公共職業安定所）の紹介による方法>

- ・求人のある企業の就労条件などを調べ、保護者、担任の先生などと相談をします。
- ・関心のある職場を実際に見学して、就職したい企業を決め、採用試験を受けます。

<② 知り合いなどの紹介による方法>

- ・これは知人が就職の面倒をみてくれるなど様々なケースがあります。

また、定時制や通信制の高等学校に通うことにより、働きながら高卒資格を取得することも可能です。（ただし、事前に職場の方と、学校に通える時間に仕事を終わらせてもらえるかなどを十分に話し合う必要があります。）

ハローワークでは、希望者一人ひとりについて面接を行い、適性や希望を聞き、個々に職場を探してくれます。しかし、厳しい現実として、中学校卒業後の求人はあまり多くありません。

## ○就職活動のおおまかな流れ

- 11月・・・本人の就職希望→進路面談（本人・保護者・担任）、職業相談の申し込み  
（中学校で職業適性検査を受けておくとよい）
- 12月・・・職業相談（本人・保護者・担任・ハローワーク職員など）
- 12月～1月・・・事業所の見学  
ハローワーク職員と個別相談（就職事業所希望決定）→事業所の決定→  
応募書類の作成→ハローワークへの提出
- 1月上旬・・・採用試験（選考科目は事業所ごとに異なる。面接重視）  
合格発表

## 【中学校を通して行われる就職の手続き】

### 求人情報の確認

#### ハローワークから学校へ送られる求人情報の確認

10月ごろに求人一覧が出ます。保護者と話し合い、就職する意思がしっかりと固まったら担任の先生と相談して、自分の条件に合った就職先を選び、また職場見学を進んで行き、自分自身で確かめて職業相談をしましょう。

### 応募書類の提出

#### 就職希望の事業所が決まったら応募書類に写真を貼り、ハローワークへ提出

ハローワークと学校とで相談したことをもとに相談票を記入し、就職希望の事業所が決まったら応募書類に写真を貼り、ハローワークへ提出します。

### 採用試験

1月上旬から行われます。学科試験を実施するところや面接のみのところがあります。求人数は多くありませんので、時期を追うごとに選択できる企業が少なくなります。また、親せきや知人などの紹介の場合でもハローワークを通して手続きを進め、決定するのがよいでしょう。

## 【働きながら学ぶ】

※ 働きながら学ぶことができます。定時制高校や通信制高校、企業内学校があります。  
(他にも、様々なスタイルの高校があります。「11 高等学校の種類と学習内容」も参照して下さい)

## 就 職

### 定時制 高校

多くの学校は、午後5時30分ごろに授業が始まり、午後9時ごろに授業が終わります。その後、部活動などもあります。一般的な修業年限は4年間ですが、最近は3年間で卒業できる学校も増えてきました。定時制高校の場合は、就職するときに「働きながら定時制高校で学びたい」との意思を企業にしっかり伝えることが大切です。

### 通信制 高校

教科書を使うほか、学習書を活用して、自分で学習することが中心となります。レポートの提出や高校に通うスクーリングで指導や助言を受けます。修業年限は3年以上です。なお、卒業時に与えられる資格は全日制・定時制と同じです。

### 企業内 学校

企業が学校をもっているところで、仕事をしながら、教育を受けることができます。全寮制の場合があります。(数は少ない。)

神奈川県内のハローワークに関する案内のアドレス (ハローワークとは公共職業安定所の愛称です。)  
詳しいことは、<http://kanagawa-hellowork.jsite.mhlw.go.jp/list.html> に掲載されています。

## 夢をもって働くために（自分にあった仕事選び）

職業に就けば、その中で様々な困難や苦勞もあることでしょう。しかし、その苦勞を乗り越えることで、自分の個性や能力を發揮し、生きがいを得ることができます。だれでも働き始める時、生き生きとやりがいをもって長く働きたい、と思っています。しかし、仕事があわないなど、早く辞めてしまう若者が多いのも現実です。世の中にはたくさんの仕事があり、厚生労働省の職業分類には約1万7千の職業名があげられています。ですから仕事選びは、どういう仕事が自分にあっているのか「職業適性」をよく考えながら行いましょう。それには、「自分のことを知る」、「職業のことを知る」の両方が大事です。では、仕事探しを上手に進めるために、まず、自分自身を知ることから始めましょう。そのために、

- ・ 今までしてきたこと
- ・ 今できること
- ・ これからやりたいこと

などをまとめておきましょう。

## 自らの生き方・将来について考えよう。



将来、自分は「こんな人生を送りたい」と考えています。



私の将来の夢（就きたいと考えている仕事）は・・・



その理由は・・・



この夢（進路）を実現するための課題は・・・



この課題を解決するために、次の点に気をつけて生活面・学習面に取り組んでいきたいです。

## 自分についてまとめよう。面接用



- 1 自分のよいところ（自分の長所）
- 2 中学校の学習で、特に力を入れたこと
- 3 学級活動や生徒会活動等について
- 4 学校行事や部活動の取組について
- 5 学校外の活動について
- 6 もっている資格（検定）等

## 履歴書の書き方

- ◆履歴書は手書きが望ましいです。 ◆ボールペンで、いねいに書きましょう。
  - ◆間違えたら必ず書き直しましょう。 ◆誤字、脱字はないか、記入漏れはないか、必ず確認しましょう。
  - ◆文字の上手下手ではなく、いねいに書くことを心がけましょう。
  - ◆履歴書、職務経歴書に用いる年号は、元号、西暦のどちらでも可能ですが、どちらかに統一しましょう。
  - ◆職務経歴書で志望動機を書いても、履歴書の志望動機欄は省略しないで必ず書きましょう。
- 内容が職務経歴書と矛盾しないように注意してください。

**日付**  
面接当日の日付を記入。  
郵送する場合は投函日を書き入る。

**写真**  
最近三ヶ月以内に写した証明写真。  
モノクロ又はカラー。  
枠にピッタリの大きさに貼る。スナップ写真は好ましくありません。

**住所**  
郵便番号は7ケタ、マンション・アパートの名称、部屋番号まで正確に記入。

**学歴**  
中学卒業から記入し、学校名は略さず、学部学科名まで正確に記入。

**職歴** 古いものから順番に記入し、会社名は略さず、正式名称を記入。  
入退社は年月を間違えないように。アルバイト、パートタイムも期間の長いものは記入。

**免許・資格**  
取得した順に正式名称で記入。取得予定がある場合はその旨記入。  
(取得した資格だけでなく、新たな資格取得をめざしているという熱意がアピールできます。)

**志望動機・特技など**  
自己アピールする欄。  
職務能力、職務貢献、積極性などを記入。  
仕事のことだけでなく、趣味や日頃取り組んでいることなども具体的に記入。



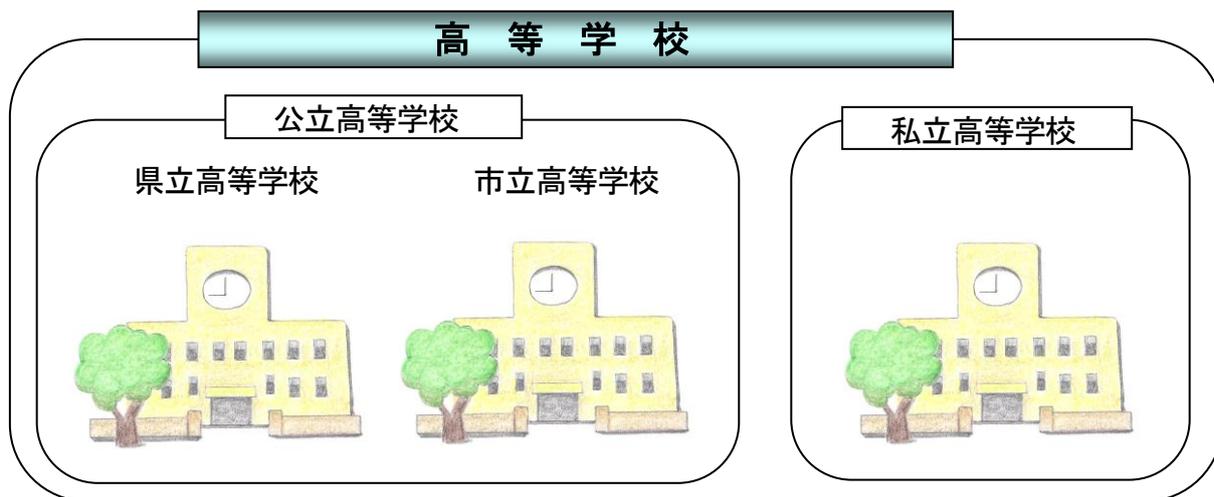
神奈川県労働局神奈川ハローワークホームページより

# 1 1 高等学校の種類と学習内容

高等学校には、どのような種類がありますか。

## 公立、私立の違い

神奈川県内の高等学校は、設置者により公立と私立があります。公立は県や市が設置者となります。私立は民間の学校法人が設置者です。



公立と私立では、教育方針や費用など、様々な違いがあります。各校で特色ある高校づくりが進められているので、よく調べて選びましょう。

## 課程の違い

学習時間や学習方法などの違いで、次の3つの「課程」に分かれています。

課 程	とく 特 徴
全日制	中学校と同じように、朝から午後まで授業を行います。修業年限（卒業までにかかる年数）は3年間です。
定時制	夕方から夜にかけて授業を行います。また、一部、昼間に授業を行う学校もあります。修業年限は4年間を基本としますが、3年間で卒業できる仕組みもあります。
通信制	教科書等を用いた自学自習が基本です。科目ごとに定められた数のレポート（報告課題）を提出し、添削指導を受けるという形で学習を進めていきます。月に2回程度スクーリング（面接指導）に出席し、勉強の仕方や内容について教わります。修業年限は3年以上です。毎日登校してきめ細かな指導を受けたり、ITを活用したりして学ぶこともできる、県立横浜 修 悠館高等学校もあります。

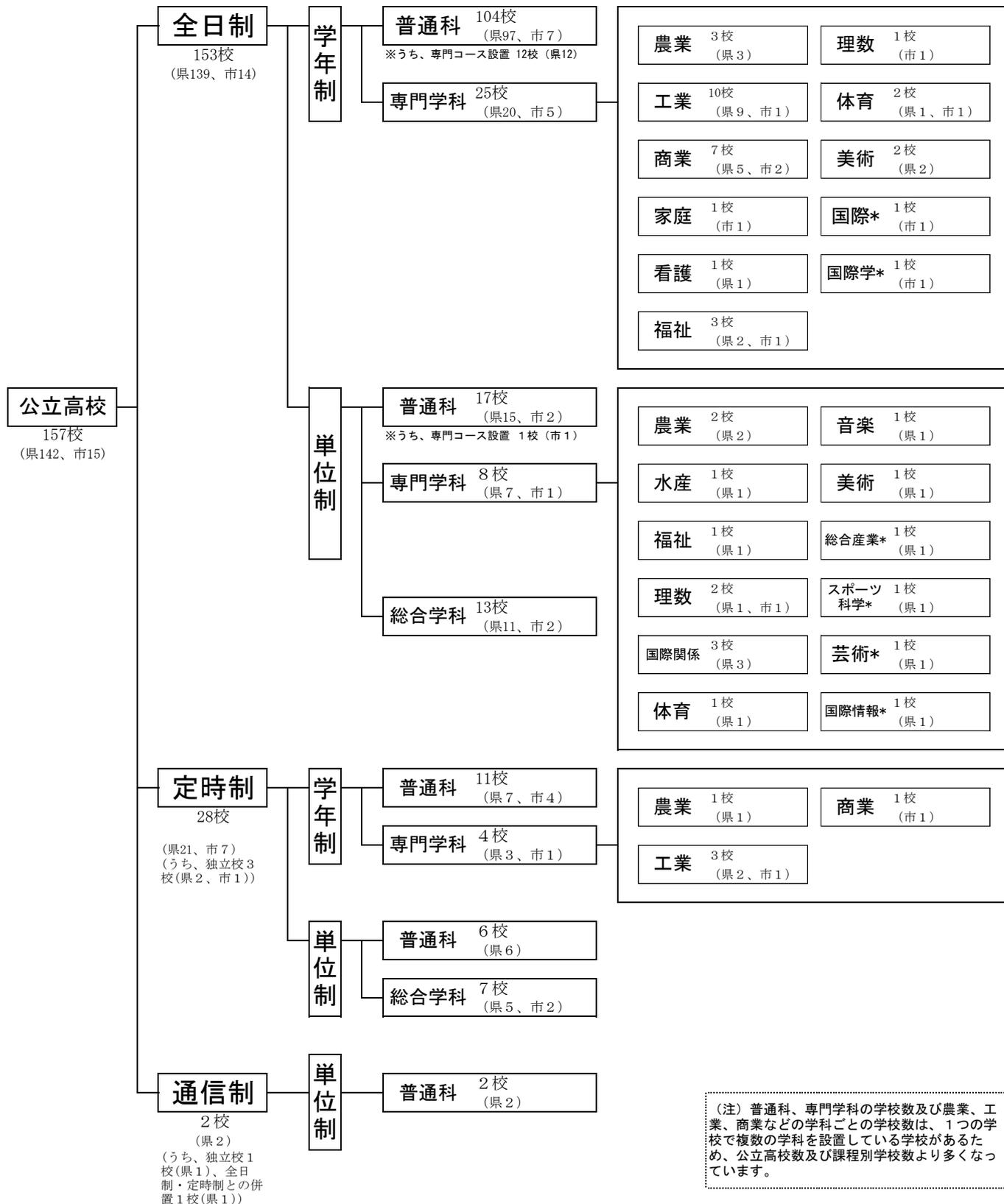
### ■学年制と単位制の違い

学年制では、中学校と同じように1年ごとに進級していきます。単位制では、学年の区分がなく、必要な単位数を修得することで卒業できます。単位というのは、一定の学習量を表すもので、50分授業の場合は1年間に標準で35回受けることで1単位と数えます。

# 神奈川県立の公立高等学校

(平成30年4月現在)

- 神奈川県には、県立と市立をあわせて、157校の公立高等学校があります。
- 高等学校（以下、「高校」といいます。）は、学習形態（学習時間、修業年限、学習方法など）の違いによって、全日制、定時制、通信制の課程に分かれています。
- それぞれの課程は、学びのしくみによって、学年による教育課程の区分を設ける学年制と区分を設けない単位制に分かれます。さらに、主に学習する内容によって、普通科・専門学科・総合学科に分かれています。



表中\*印が付された学科は、「高等学校設置基準」における「その他専門教育を施す学科」に分類される学科です。

---

## I 全日制 主に平日の昼間に学習します。

---

### 1 普通科

共通教科の科目を中心に学ぶ学科です。

---

#### <普通科>

国語、数学、外国語（英語）、保健体育、家庭などといった共通教科の科目の学習を中心に学習します。また、学校行事を充実させたり、体験学習を積極的に取り入れたりして多彩な教育活動を展開しています。さらに、単位制普通科、フレキシブルスクール、クリエイティブスクールなど、一人ひとりの学習希望や進路希望に応じた学校もあります。

---

#### ◇学年制普通科

中学校と同じように、多くの科目についてクラス単位で学び1学年ずつ進級していきます。各学校では特色に応じた選択科目も設置しています。

---

##### ○クリエイティブスクール

学習への意欲を高め、「わかる授業」の展開や「実体験からの学び」を推進するため、1クラス30人以下での展開等の新たなしくみを導入しています。入学者選抜では、学ぶ意欲を重視した選考を行います。

---

##### ○インクルーシブ教育実践推進校

共生社会の実現をめざし、知的障害のある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するとともに、すべての生徒が共に学び相互に理解を深める教育に取り組みます。

---

#### ◇単位制普通科

3年間で必要な単位数を修得することで卒業できます。共通教科の科目を中心に、自分の興味・関心、進路希望にあわせて科目を選択し、学習することができる高校もあります。

---

##### ○フレキシブルスクール

単位制のしくみを生かし、一人ひとりの生活スタイルや学習ペースに応じた学習ができます。1日8時間や12時間の授業展開から、午前・午後・夜間それぞれの時間帯から選択できる柔軟なシステムです。他校との学校間連携や社会人とともに学ぶ講座も設置しています。

---

### 2 専門学科

本県の産業を支える将来のスペシャリストとして必要な専門的知識・技術を身に付けるため、それぞれの専門分野に関する科目を学習します。各専門科目の学習では、普通科と比べて、実習などの体験学習が多く組み込まれているほか、大学や研究機関、企業と連携した授業も行われています。また、専門科目の学習をとおして、多くの生徒がさまざまな資格取得をしています。専門学科には、産業教育系（農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、総合産業）と個性教育系（体育、音楽、美術、国際）があります。

---

### 3 総合学科

幅広い共通教科の科目と専門科目の中から各自が特色ある科目を選択して、単位制のしくみによって学びます。自分の個性・適性を発見し、将来の進路を考える学習を重視し、原則として入学年次に全員が「産業社会と人間」という科目を学びます。体験的な学習や実習を重視した授業を展開します。

---

## II 定時制

夜間その他の特別な時間または時期に4年間学習します。なお、3年で卒業できる仕組みのある学校もあります。また、卒業時に与えられる資格は、全日制と同じです。多くの学校では、17時30分ごろに授業がはじまり、21時ごろに授業が終わります。そのあと、部活動などがあります。

午前部・午後部のある県立横浜明朋高校と県立相模向陽館高校、午前、午後、夜間がある横浜市立横浜総合高校やフレキシブルスクールの県立川崎高校、県立厚木清南高校もあります。

---

## III 通信制

主に通信教育によって学習します。学習の仕方によっては、3年で卒業できます。また、卒業時に与えられる資格は、全日制、定時制と同じです。また、毎日登校してきめ細かな指導を受けることができたり、ITを活用して自宅での学習を中心に学んだりすることもできる県立横浜修悠館高校もあります。

---

### 通級による指導

通常の学級に在籍し、大半の授業を通常の学級で受けつつ、障害などによる学習上・生活上の困難のある生徒に対し、主体的に改善・克服するために行う特別の指導を行います。

# 12 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の概要

共通選抜の機会

全日制

定時制

通信制

募集

募集人員は募集定員の100%とします。

募集人員は募集定員の80%とします。  
※ 夜間以外の定時制は募集定員の100%とします。

志願

ひとつの課程・学科・コース等に志願します。志願変更ができます。志願には願書と面接シート等を提出します。

検査

【共通の検査】(\*1) (☆)  
学力検査(原則5教科)・面接  
※ 特色検査を実施する場合は3教科にまで減じる場合があります。

【共通の検査】(☆)  
学力検査(原則3教科)・面接  
※ 理科・社会を実施する場合があります。

面接または作文

特色検査(実技検査・自己表現検査)を実施する場合があります。

選考

【第1次選考】募集人員の90%まで、調査書の評定(2・3年)(\*2)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法(※)で選考します。  
【第2次選考】調査書の評定を用いずに、実施した検査の結果をもとに募集人員まで選考します。

調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

☆ 共通の検査の学力検査(外国語(英語))においては、全日制・定時制ともにリスニングテストを実施します。

特別な設置趣旨の学校について

\*1 クリエイティブスクール(県立田奈高等学校、県立益利谷高等学校、県立大楠高等学校、県立大井高等学校、県立大和東高等学校)は、学力検査を行いません。

\*2 クリエイティブスクールは、調査書の評定は使わず、観点別学習状況を活用します。  
フロンティアスクール(県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校)でも、調査書の評定は使わず、必要に応じて観点別学習状況を活用し総合的に選考します。

<二次募集>

欠員がある場合、必要に応じて実施します。

定通分割選抜の機会

募集

共通選抜の募集人員を差し引いた人員を募集(共通選抜の募集人員を満たしていない人員も加えます。)

志願

ひとつの課程・学科に志願します。志願変更ができます。志願には願書と面接シート等を提出します。

検査

【共通の検査】  
学力検査(3教科)・面接

面接または作文

特色検査を実施する場合があります。

選考

調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法により選考します。

調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

【共通選抜の二次募集】

学力検査(3教科)を実施し、面接を行う場合もあります。調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

【定通分割選抜の二次募集】

定時制は面接、通信制は面接または作文を実施します。調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

※ 数値算出の方法

調査書の評定(A)・学力検査の得点(B)・面接の結果(C)をもとにします。

それぞれを100点満点に換算した(a)、(b)、(c)を各学校が定めた比率(f、g、h)で合計数値を算出します。

合計数値  $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h$  (f、g、hは2以上の整数とし、 $f+g+h=10$ となるよう設定します。)

特色検査を実施した場合は、その結果(D)を100点満点に換算した(d)を加えます。

合計数値  $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h + (d) \times i$  (iは5以下の整数とします。)

◎ 第2次選考では(a)点は使用せず、 $g+h=10$ となるように比率(g、h、(特色検査を実施した場合はi))を改めて設定し算出します。

## 1 3 特別支援学校の概要

### 特別支援学校は、どのような学校ですか。

特別支援学校では、障害のある子どもたちの様々な教育的ニーズに応じたきめ細かい教育を行っています。各学校では、子どもたちが自立し、よりよく社会参加していくために必要な学習を行っています。

特別支援学校には、幼稚部、小学部、中学部、高等部（本科、専攻科）があります。また、障害の状態により、学校に通って教育を受けることが困難な子どもたちを対象に、訪問教育を行っています。

学校の種類	特 徴
視覚障害 教育部門 〔高等部〕	視覚障害教育部門では、視力や見え方等に障害のある生徒が学んでいます。学習するために、文字を「拡大する」ことや「手で触る」ことが必要な場合があります。そのために、各種の教材や支援機器を活用して学習を行い、高等学校に準じた教育や自立活動等を中心とする教育を行っています。また、日常生活や歩行のための訓練、点字や点字ワープロ等の指導も行っており、一人ひとりの可能性を引き出すよう配慮しています。高等部専攻科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等の資格取得を目指した職業教育を行っています。
聴覚障害 教育部門 〔高等部〕	聴覚障害教育部門では、聞こえに障害がある生徒が学んでいます。補聴器等を使って、聞こえの力を最大限生かすための学習、話し言葉を身に付けるための学習、相手の口の形を見て言葉を読み取る学習等を進めながら、高等学校に準じた教育や自立活動等を中心とする教育を行っています。高等部本科には、普通科や多様な職業科が設置され、自分の適性或希望に応じて知識技術を習得しています。職業科では、デザイン、情報等を専門的に学び、高等部本科を修了してからさらに2年間の専攻科が設置されている学校もあります。
知的障害 教育部門 〔高等部〕	知的障害教育部門では、ものごとを理解・判断することに時間がかかるなど、知的機能の発達がゆっくりな生徒が学んでいます。一人ひとりの豊かな成長を図るため、いろいろな指導形態や方法を取り入れた学習を行っています。また、日常生活に必要な習慣や知識を身に付ける指導や、人とのかかわり方を身に付ける指導にも取り組んでいます。高等部では、教科等の学習のほかに、家庭生活や職業生活に必要な技能や態度を養うための学習や、職場実習等の経験を通して社会参加・自立をめざす指導を行っています。
肢体不自由 教育部門 〔高等部〕	肢体不自由教育部門では、からだに不自由のある生徒が学んでいます。施設設備面で様々な配慮をしながら高等学校に準じた教育や自立活動等を中心とする教育を行っています。学習指導では、教材や支援機器を工夫したり、情報教育機器を活用しています。自立的な活動を促進するために感覚機能、運動機能等を向上させる指導にも力を入れています。また、障害の重い生徒の健康や安全に配慮して指導にあたっています。
病弱 教育部門 〔高等部〕	病弱教育部門では、病気や健康面で配慮が必要な生徒で、治療や生活規制が必要なため、長期にわたって病院に入院している生徒が学んでいます。一人ひとりの病状や体力等に十分配慮した上で、ベットサイドや病院内の指導教室、隣接の学校の教室等で教育を行っています。病気の状態や入院期間、情緒面にも配慮しながら、医療機関と連携して様々な教育を行っています。なお、病弱教育部門の高等部は訪問教育となります。

\* 公立特別支援学校については、授業料はかかりません。

\* 特別支援学校については、世帯の状況に応じて就学奨励費が支給されます。

## 14 専修学校・各種学校など

### 専修学校・各種学校には、どのような学校がありますか。

高等学校以外にも、家庭や職場で役立つ実践的な技能の習得や資格を習得するための学校がいろいろとあります。

#### 1 専修学校

「専修学校」とは、専門的な技能の育成や教養の向上を図るための学校の中でも、目的や修業年限などの一定の条件を満たした学校をいいます。専修学校には、中学校卒業程度の学力をもつ人を対象とした「高等課程」と、高校卒業程度の学力をもつ人を対象とした「専門課程」があるので、間違えないように注意しましょう。

高等課程の主な分野と修業年限は右の表のとおりです。

分野	特徴	修業年限
工業	電気工事士などの資格が取得できます。	3年間
医療	准看護師を目指します。	2年間
衛生	調理師や美容師の免許が取得できます。	1・3年間
商業実務	簿記・会計関係などの資格取得を目指します。	3年間
服飾家政	ファッションの世界を目指します。	3年間
文化教養	デザイン・音楽の世界を目指します。	3年間

専修学校の目的は、その専門の資格や技能を身に付けることです。そのため、専修学校を卒業しても、高校卒業の資格は得られません。そこで、さらに上級学校で技能等を伸ばすことができるように、上級の学校を受験する資格が得られる学校もあります。また、通信制高校との技能連携で、高校卒業資格を取れる学校もあります。10月くらいから募集を始めるところも多いので、取れる資格や費用なども含めて、早めに調べておく必要があります。

#### 2 各種学校

専修学校と同じように専門知識や一般教養を身に付けるための学校で、施設などの条件が専修学校の基準とは少し違っているものを、「各種学校」と呼んでいます。

教育内容・費用なども学校によって様々で、年によっては大きく変わる場合もありますので、調べたいときには、中学校の先生に相談し、最も新しい資料によってアドバイスを受けることが大切です。

#### 3 職業技術校

職業技術校には、工業技術、建築技術、社会サービスの各分野の様々なコースがあり、職業に役立つ技術や技能を習得できます。さらに、就職先企業の紹介を受けることができ、就職に必要な面接の仕方なども身に付けることができます。訓練期間が1年のコースの一部と6ヶ月のコースは、新規に中学校を卒業する方も申し込みができます。詳しくは、中学校の先生に相談してください。

#### 4 その他の学校

これまで紹介したほかに、中学校卒業生を受け入れる学校としては、高等専門学校（5年制）があります。

そちらも、校数は多くないので、詳しくは、中学校の先生に相談してください。

専修学校・各種学校についての問合せ先	神奈川県県民局次世代育成部私学振興課 神奈川県専修学校各種学校協会	電話 045-210-1111(代表) 電話 045-312-2221
職業技術校についての問合せ先	神奈川県産業労働局労働部産業人材課 県立職業技術校各校	電話 045-210-5715 資料編 20 県立職業技術校等一覧のとおり

# 15 就学援助制度

高校に進学したいと考えていますが、学資の援助にはどのようなものがあるのでしょうか。

## 高校生の就学援助制度の概要

平成 29 年 12 月末日現在

### I 県の制度

#### 1 公立高等学校の入学検定料等減免制度

- 県立高等学校を受検する際の受検料(入学検定料)及び入学する際の入学料の全部または一部を減免する制度があります。詳しくは下記までお問い合わせください。
- 横浜市立、川崎市立、横須賀市立の各高等学校でも減免制度がありますので、各市教育委員会にお問い合わせください。(資料編 17 参照)

問合せ先 **高等学校の事務室又は**  
**県教育委員会財務課 (045-210-8113)**

#### 2 公立高等学校の就学支援金制度

- 次の世帯の方は申請することにより高等学校等就学支援金が支給され、授業料に充当しますので、実際に授業料を納付していただくことはありません。
- ◆申請することができる世帯の方
  - ・保護者(親権者)全員の市町村民税所得割額の合計が 304,200 円未満の世帯の方(年収目安 910 万円程度未満の方)
  - ・生活保護を受けている世帯の方
- この就学支援金の支給を受けることができる世帯の方でも、申請が遅れたり、申請をしなかった場合は、授業料を納付していただくことになりますのでご注意ください。

問合せ先 **高等学校の事務室又は**  
**県教育委員会財務課 (045-210-8113)**

#### 3 神奈川県高校生等奨学給付金(国公立高等学校)

- 保護者等が県内に住所を有する世帯のうち生活保護受給世帯又は市町村民税所得割が非課税である世帯を対象に返還不要の給付金を支給します(申請が必要です)。
- 世帯の状況や課程の種類により支給額が異なります。
- 平成 30 年度の募集時期や支給額については、6 月中旬以降にお問い合わせください。

問合せ先 **高等学校の奨学給付金担当者**  
**(制度について) 県教育委員会財務課 (045-210-8251)**

#### 4 私立高等学校等の学費支援制度

- 高等学校等就学支援金：私立高等学校等に通う生徒について、国の費用により授業料の一部が軽減されます。保護者の所得に応じて支給額が加算されます。  
補助額 授業料(年額) 118,800円～297,000円(年収目安910万円程度未満の世帯まで)
  - 学費補助金：県内設置の私立高等学校等に在学し、かつ、生徒と保護者が県内に在住しており、市町村民税所得割額が一定未満の世帯を対象とします。  
補助額 入学金(1年生のみ) 100,000円 授業料(年額) 74,400円～170,400円
  - 緊急支援補助金：県内設置の私立高等学校等に在学し、かつ、生徒と保護者が県内に在住しており、主たる生計維持者の失職、会社の倒産等で家計が急変した場合に、対象となります。  
補助額 授業料(年額) 178,200円～297,000円
  - 神奈川県高校生等奨学給付金(私立高等学校等)：保護者等が県内に住所を有する世帯(生活保護受給世帯または市町村民税所得割額が非課税である世帯)を対象に返還不要の給付金を支給します(申請が必要です)。  
給付額 世帯の状況や学校の種類により異なります。
- ※ 平成 30 年度の募集時期や支給金額については、6 月以降にお問い合わせください。

問合せ先 **県民局次世代育成部私学振興課 (045-210-3793)**

## 5 神奈川県高等学校奨学金（平成 29 年度の募集内容）

- 応募要件（次の 2 つを満たす必要があります。）
- ・県内に住所を有し、県内の高等学校等（高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部）に在学する生徒、又は保護者等が県内に住所を有し、高等学校等又は専修学校の高等課程に在学する生徒
  - ・保護者等の市町村民税所得割額の合計が 245,800 円未満であること（年収目安 800 万円程度未満の世帯）
- 貸付月額
- 【1 年生】国公立 10,000 円又は 20,000 円。私立 10,000 円、20,000 円、30,000 円又は 40,000 円。  
【2 年生以上】国公立 10,000 円。私立 10,000 円、20,000 円又は 30,000 円。（要件を満たし希望する場合は 10,000 円の加算制度あり）
- 貸付期間 4 月から 3 月までの 1 年間（毎年度申請が必要です。）

※ 奨学生の採用は選考により決定しますので、応募要件を満たしている場合でも採用されない場合があります。

※ 卒業後、<sup>へんかん</sup>返還が必要です。

**問合せ先 高等学校の奨学金担当者**  
**（制度について）県教育委員会財務課（045-210-8251）**

## 6 母子父子寡婦福祉資金

- 母子家庭の母親、父子家庭の父親または寡婦の方で、生徒の修学等にあたり、経済的に援助を必要としている方を対象に資金の貸付けを行っています。
- 貸付額 修学に必要な資金（修学資金）
- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 公立 | 原則 18,000 円以内（27,000 円以内）※ |
| 私立 | 原則 30,000 円以内（45,000 円以内）※ |
- ※（）書きは限度額。特に必要と認められる場合に限り、限度額の上限まで貸付が可能です。
- |                  |    |             |
|------------------|----|-------------|
| 入学に必要な資金（就学支度資金） | 公立 | 150,000 円以内 |
|                  | 私立 | 410,000 円以内 |

**問合せ先** ・横浜、川崎、相模原、横須賀の各市在住の方は、各市の福祉事務所  
・その他の市町村在住の方のうち、市にお住まいの方は、各市の福祉事務所、町村にお住まいの方は各保健福祉事務所

## II 市町村の奨学金制度

平成30年3月31日現在

市町村名	名 称	問い合わせ先	電 話
横 浜 市	横浜市高等学校奨学金	市教育委員会高校教育課	045-671-3272
川 崎 市	川崎市高等学校奨学金	市教育委員会総務部学事課	044-200-3267
相 模 原 市	相模原市奨学金	市教育委員会学務課	042-769-9262
	相模原市岩本育英奨学金	市教育委員会学務課	042-769-9262
横 須 賀 市	横須賀市奨学金	市教育委員会支援教育課	046-822-8480
横 須 賀 市	交通遺児奨学金	市教育委員会支援教育課	046-822-8480
鎌 倉 市	鎌倉市就学援助金	市教育委員会学務課	0467-61-3796
逗 子 市	逗子市奨学金	市教育委員会学校教育課	046-873-1111 (内線)529
三 浦 市	(公財)寺本育英会奨学金	市教育委員会教育総務課	046-882-1111 (内線)407
葉 山 町	葉山町高校生奨学給付金	町教育委員会学校教育課 学務係	046-877-5101
寒 川 町	寒川町奨学金	町教育委員会教育総務課	0467-74-1111 (内線)513
厚 木 市	厚木市久保奨学金	市教育委員会教育総務課	046-225-2600
大 和 市	大和市奨学金	市教育委員会学校教育課	046-260-5208
海 老 名 市	海老名市奨学金	市教育委員会就学支援課	046-235-4918
座 間 市	座間市奨学金	市教育委員会教育総務課	046-252-8347
綾 瀬 市	綾瀬市奨学金	市教育委員会学校教育課	0467-70-5654
愛 川 町	愛川町高等学校等通学助成金	町教育委員会教育総務課	046-285-2111 (内線)3613
清 川 村	清川村高等学校等通学費補助金	村教育委員会事務局 学校教育係	046-288-1215
平 塚 市	平塚市教育委員会高等学校等修学支援金	市教育委員会教育総務課 学務担当	0463-35-8118
秦 野 市	(公財)秦野ロータリー奨学基金	市教育委員会学校教育課	0463-84-2785
大 磯 町	大磯町私立高等学校等就学支援補助金	町教育委員会学校教育課	0463-61-4100 (内線)328
二 宮 町	二宮育英会奨学金	町教育委員会教育総務課 教育総務班	0463-71-3311
中 井 町	中井町育英奨学金	町教育委員会教育課	0465-81-3906
大 井 町	大井町育英奨学金	町教育委員会教育総務課	0465-85-5015
松 田 町	松田町育英奨学金	町教育委員会教育課	0465-83-7023
山 北 町	山北町育英奨学金	町教育委員会学校教育課	0465-75-3648
開 成 町	開成町育英奨学金	町教育委員会教育総務課	0465-82-5221
小 田 原 市	小田原市高等学校等奨学金	市教育委員会教育指導課 学事係	0465-33-1682
箱 根 町	箱根町育英奨学金	町教育委員会学校教育課	0460-85-7600
真 鶴 町	真鶴町入学支度金	町教育委員会教育課	0465-68-1131
湯 河 原 町	湯河原町育英奨学金	町教育委員会学校教育課	0465-62-1100

\*各市町村の奨学金制度の有無や内容の詳細については、各市町村に直接お問い合わせください。

## III その他の学費助成制度

### ○交通遺児育英会奨学金

(公財)交通遺児育英会 奨学課(直通:03-3556-0773、フリーダイヤル:0120-521-286)  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階

### ○あしなが奨学金

あしなが育英会 業務課(直通:03-3221-0888)  
〒102-8639 東京都千代田区平河町1-6-8 平河町貝坂ビル

## 資料編16-1

## 神奈川県公立高等学校一覽

平成30年4月現在1年の生徒が在籍する学科・学校（見込）

市区町村	高等学校名	郵便番号	所在地	電話	課程	学科
横浜市鶴見区	県立鶴見	230-0012	横浜市鶴見区下末吉6-2-1	045-581-4692	全	普通
	県立鶴見総合	230-0031	横浜市鶴見区平安町2-28-8	045-506-1234	単全	総合
	横浜市立横浜サイエンスフロンティア	230-0046	横浜市鶴見区小野町6	045-511-3654	単全	理数
	横浜市立東	230-0076	横浜市鶴見区馬場3-5-1	045-571-0851	単全	普通
横浜市神奈川区	県立神奈川工業	221-0812	横浜市神奈川区平川町19-1	045-491-9461	全	機械、建設、電気、デザイン
	県立神奈川総合	221-0812	横浜市神奈川区平川町19-2	045-491-2000	単全	機械、建設、電気
	県立横浜翠嵐	221-0854	横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1	045-311-4621	全	普通
	県立城郷	221-0862	横浜市神奈川区三枚町364-1	045-382-5254	全	普通
横浜市西区	県立横浜平沼	220-0073	横浜市西区岡野1-5-8	045-313-9200	全	普通
横浜市中区	県立横浜緑ヶ丘	231-0832	横浜市中区本牧緑ヶ丘37-1	045-621-8641	全	普通
	県立横浜立野	231-0825	横浜市中区本牧間門40-1	045-621-0261	全	普通
	横浜市立みなと総合	231-0023	横浜市中区山下町231	045-662-3710	単全	総合
横浜市南区	横浜市立横浜総合	232-0061	横浜市南区大岡2-29-1	045-744-1900	単定	総合
	県立横浜清陵	232-0007	横浜市南区清水ヶ丘41	045-242-1926	単全	普通
	県立横浜国際	232-0066	横浜市南区六ッ川1-731	045-721-1434	単全	国際情報
	横浜市立横浜商業	232-0006	横浜市南区南太田2-30-1	045-713-2323	全	商業、スポーツマネジメント、国際学
横浜市港南区	県立横浜南陵	234-0053	横浜市港南区日野中央2-26-1	045-842-3764	全	普通
	県立永谷	233-0016	横浜市港南区下永谷1-28-1	045-824-2126	全	普通
	横浜市立南	233-0011	横浜市港南区東永谷2-1-1	045-822-1910	全	普通
	県立横浜明朋	234-0054	横浜市港南区港南台9-18-1	045-836-1680	単定	普通
横浜市保土ヶ谷区	県立光陵	240-0026	横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1	045-712-5577	全	普通
	県立商工	240-0035	横浜市保土ヶ谷区今井町743	045-353-0591	全	総合技術、総合ビジネス
	県立保土ヶ谷	240-0045	横浜市保土ヶ谷区川島町1557	045-371-7781	全	普通
	横浜市立桜丘	240-0011	横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘2-15-1	045-331-5021	全	普通
横浜市旭区	県立希望ヶ丘	241-0824	横浜市旭区南希望ヶ丘79-1	045-391-0061	全	普通
	県立二俣川看護福祉	241-0815	横浜市旭区中尾1-5-1	045-391-6165	全	看護、福祉
	県立旭	241-0806	横浜市旭区下川井町2247	045-953-3301	全	普通
	県立横浜旭陵	241-0001	横浜市旭区上白根町1161-7	045-953-1004	単全	普通
横浜市磯子区	県立磯子工業	235-0023	横浜市磯子区森5-24-1	045-761-0251	全	機械、電気、建設、化学
	県立磯子	235-0042	横浜市磯子区上中里町444	045-772-0166	単定	総合
	県立氷取沢	235-0043	横浜市磯子区氷取沢町938-2	045-772-0606	全	普通
	横浜市立横浜商業	235-0011	横浜市磯子区丸山1-22-21	045-751-5151	別科	理容、美容
横浜市金沢区	県立金沢総合	236-0051	横浜市金沢区富岡東6-34-1	045-773-6771	単全	総合
	県立釜利谷	236-0042	横浜市金沢区釜利谷東4-58-1	045-785-1670	全	普通
	横浜市立金沢	236-0027	横浜市金沢区瀬戸22-1	045-781-5761	全	普通
横浜市港北区	県立港北	222-0037	横浜市港北区大倉山7-35-1	045-541-6251	全	普通
	県立新羽	223-0057	横浜市港北区新羽町1348	045-543-8631	全	普通
	県立岸根	222-0034	横浜市港北区岸根町370	045-401-7872	全	普通
横浜市緑区	県立霧が丘	226-0016	横浜市緑区霧が丘6-16-1	045-921-6911	全	普通
	県立白山	226-0006	横浜市緑区白山4-71-1	045-933-2231	全	普通、美術
横浜市青葉区	県立市ヶ尾	225-0024	横浜市青葉区市ヶ尾町1854	045-971-2041	全	普通
	県立田奈	227-0034	横浜市青葉区桂台2-39-2	045-962-3135	全	普通
	県立元石川	225-0004	横浜市青葉区元石川町4116	045-902-2692	全	普通
横浜市都筑区	県立川和	224-0057	横浜市都筑区川和町2226-1	045-941-2436	全	普通
	県立荏田	224-0007	横浜市都筑区荏田南3-9-1	045-941-3111	全	普通
	県立新栄	224-0035	横浜市都筑区新栄町1-1	045-593-0307	全	普通
横浜市戸塚区	県立舞岡	244-0814	横浜市戸塚区南舞岡3-36-1	045-823-8761	全	普通
	県立横浜桜陽	245-0062	横浜市戸塚区汲沢町973	045-862-9343	単全	普通
	県立上矢部	245-0053	横浜市戸塚区上矢部町3230	045-861-3500	全	普通、美術
	横浜市立戸塚	245-8588	横浜市戸塚区汲沢2-27-1	045-871-0301	単全	普通
横浜市栄区	県立柏陽	247-0004	横浜市栄区柏陽1-1	045-892-2105	全	普通
	県立金井	244-0845	横浜市栄区金井町100	045-852-4721	全	普通
	県立横浜栄	247-0013	横浜市栄区上郷町555	045-891-5581	単全	普通
横浜市泉区	県立松陽	245-0016	横浜市泉区和泉町7713	045-803-3036	全	普通
	県立横浜緑園	245-0003	横浜市泉区岡津町2667	045-812-3371	単全	普通
	県立横浜修悠館	245-0016	横浜市泉区和泉町2563	045-800-3711	単通	普通
横浜市瀬谷区	県立瀬谷	246-0011	横浜市瀬谷区東野台29-1	045-301-6747	全	普通
	県立瀬谷西	246-0004	横浜市瀬谷区中屋敷2-2-5	045-302-3535	全	普通

## 資料編16-2

## 神奈川県公立高等学校一覧

平成30年4月現在1年の生徒が在籍する学科・学校（見込）

市区町村	高等学校名	郵便番号	所在地	電話	課程	学科
川崎市川崎区	県立川崎	210-0845	川崎市川崎区渡田山王町22-6	044-344-5821	単全	普通
	県立大師	210-0827	川崎市川崎区四谷下町25-1	044-276-1201	単全	普通
	川崎市立川崎	210-0806	川崎市川崎区中島3-3-1	044-244-4981	全定	普通、生活科学、福祉
川崎市幸区	川崎市立幸	212-0023	川崎市幸区戸手本町1-150	044-522-0125	全	普通、ビジネス教養
	川崎市立川崎総合科学	212-0002	川崎市幸区小向仲野町5-1	044-511-7336	全定	情報工学、総合電気、電子機械、建設工学、デザイン、科学 クリエイティブ工学、商業
川崎市中原区	県立川崎工科	211-0013	川崎市中原区上平間1700-7	044-511-0114	全	総合技術
	県立新城	211-0042	川崎市中原区下新城1-14-1	044-766-7457	全	普通
	県立住吉	211-0021	川崎市中原区木月住吉町34-1	044-433-8555	全	普通
	川崎市立橋	211-0012	川崎市中原区中丸子562	044-411-2640	全定	普通、国際、スポーツ
川崎市高津区	川崎市立高津	213-0011	川崎市高津区久本3-11-1	044-811-2555	全定	普通
川崎市宮前区	県立川崎北	216-0003	川崎市宮前区有馬3-22-1	044-855-2631	全	普通
川崎市多摩区	県立多摩	214-0021	川崎市多摩区宿河原5-14-1	044-911-7107	全	普通
	県立向の岡工業	214-0022	川崎市多摩区堰1-28-1	044-833-5221	全	機械、建設、電気
	県立生田	214-0035	川崎市多摩区長沢3-17-1	044-977-3800	単全	総合
	県立百合丘	214-0036	川崎市多摩区南生田4-2-1	044-977-8955	全	普通
	県立生田東	214-0038	川崎市多摩区生田4-32-1	044-932-1211	全	普通
川崎市麻生区	県立菅	214-0004	川崎市多摩区菅馬場4-2-1	044-944-4141	全	普通
	県立麻生総合	215-0023	川崎市麻生区片平1778	044-987-1750	単全	総合
相模原市緑区	県立麻生	215-0006	川崎市麻生区金程3-4-1	044-966-7766	全	普通
	県立相原	252-0143	相模原市緑区橋本2-1-58	042-772-0331	全	畜産科学、食品科学、環境緑地、総合ビジネス
	県立橋本	252-0143	相模原市緑区橋本8-8-1	042-774-0611	全	普通
	県立相模原総合	252-0135	相模原市緑区大島1226	042-761-5055	単全	総合
相模原市中央区	県立城山	252-0116	相模原市緑区城山1-26-1	042-782-6565	全	普通
	県立津久井	252-0159	相模原市緑区三ヶ木272-1	042-784-1053	全定	普通、福祉
	県立上溝	252-0243	相模原市中央区上溝6-5-1	042-762-0008	全	普通
	県立相模原	252-0242	相模原市中央区横山1-7-20	042-752-4133	全	普通
	県立上溝南	252-0243	相模原市中央区上溝269	042-778-1981	全	普通
相模原市南区	県立弥栄	252-0229	相模原市中央区弥栄3-1-8	042-758-4695	単全	普通、音楽、美術、スポーツ科学
	県立相模田名	252-0244	相模原市中央区田名6786-1	042-761-3339	全	普通
	県立神奈川総合産業	252-0307	相模原市南区文京1-11-1	042-742-6111	単全	総合産業
横須賀市	県立麻溝台	252-0329	相模原市南区北里2-11-1	042-778-2731	単全	総合
	県立上鶴間	252-0318	相模原市南区上鶴間本町9-31-1	042-743-5622	全	普通
	県立相模原青陵	252-0325	相模原市南区新磯野468	042-747-0531	単全	普通
	県立横須賀	238-0022	横須賀市公郷町3-109	046-851-0120	全定	普通
	県立横須賀大津	239-0808	横須賀市大津町4-17-1	046-836-0281	全	普通
	県立横須賀工業	238-0022	横須賀市公郷町4-10	046-851-2122	全	機械、電気、化学
	県立海洋科学	240-0101	横須賀市長坂1-2-1	046-856-3128	単全	海洋科学
	県立追浜	237-0061	横須賀市夏島町13	046-865-4174	専攻	漁業生産、水産工学、情報通信
平塚市	県立津久井浜	239-0843	横須賀市津久井4-4-1	046-848-2121	全定	普通
	県立大楠	240-0102	横須賀市荻野14-1	046-856-0024	全	普通
	県立横須賀明光	239-0835	横須賀市佐原4-20-1	046-834-5671	単全	国際、福祉
	横須賀市立横須賀総合	239-0831	横須賀市久里浜6-1-1	046-833-4111	単全	総合
	県立平塚江南	254-0063	平塚市諏訪町5-1	0463-31-2066	全	普通
	県立平塚農業	254-0064	平塚市達上ヶ丘10-10	0463-31-0944	全	食品科学、園芸科学、農業総合
	県立平塚工科	254-0821	平塚市黒部丘12-7	0463-31-0417	全	総合技術
平塚市	県立高浜	254-0805	平塚市高浜台8-1	0463-21-0417	全	普通
	県立平塚商業	254-0054	平塚市中里50-1	0463-31-2385	全	総合ビジネス
	県立平塚湘風	254-0013	平塚市田村3-13-1	0463-55-1532	単全	総合

## 資料編16-3

## 神奈川県公立高等学校一覧

平成30年4月現在1年の生徒が在籍する学科・学校（見込）

市区町村	高等学校名	郵便番号	所在地	電話	課程	学科
鎌倉市	県立鎌倉	248-0026	鎌倉市七里ガ浜2-21-1	0467-32-4851	全	普通
	県立七里ガ浜	248-0025	鎌倉市七里ガ浜東2-3-1	0467-32-5457	全	普通
	県立大船	247-0054	鎌倉市高野8-1	0467-47-1811	全	普通
	県立深沢	248-0036	鎌倉市手広6-4-1	0467-31-6600	全	普通
藤沢市	県立湘南	251-0021	藤沢市鶴沼神明5-6-10	0466-26-4151	全 単定	普通 普通
	県立藤沢西	251-0861	藤沢市大庭3608-2	0466-87-2150	全	普通
	県立藤沢工科	252-0803	藤沢市今田744	0466-43-3402	全	総合技術
	県立藤沢清流	251-0002	藤沢市大鋸1450	0466-82-8111	単全	普通
	県立藤沢総合	252-0801	藤沢市長後1909	0466-45-5200	単全	総合
	県立湘南台	252-0805	藤沢市円行1986	0466-45-6600	全	普通
小田原市	県立小田原	250-0045	小田原市城山3-26-1	0465-23-1201	単全 単定	普通 普通
	県立小田原東	250-0003	小田原市東町4-12-1	0465-34-2847	全	普通、総合ビジネス
	県立西湖	256-0816	小田原市酒匂1-3-1	0465-47-2171	全	普通
	県立小田原城北工業	250-0852	小田原市栢山200	0465-36-0111	全 定	機械、建設、電気、デザイン 機械、電気
茅ヶ崎市	県立茅ヶ崎	253-0042	茅ヶ崎市本村3-4-1	0467-52-2225	全 定	普通 普通
	県立茅ヶ崎北陵	253-0081	茅ヶ崎市下寺尾128	0467-51-0311	全	普通
	県立鶴嶺	253-0084	茅ヶ崎市円蔵1-16-1	0467-52-6601	全	普通
	県立茅ヶ崎西浜	253-0061	茅ヶ崎市南湖7-12869-11	0467-85-0008	全	普通
逗子市	県立逗子	249-0003	逗子市池子4-1025	046-871-3218	全	普通
	県立逗葉	249-0005	逗子市桜山5-24-1	046-873-7322	全	普通
三浦市	県立三浦初声	238-0113	三浦市初声町入江274-2	046-889-1771	単全	普通、都市農業
秦野市	県立秦野	257-0004	秦野市下大槻113	0463-77-1422	全	普通
	県立秦野総合	257-0013	秦野市南が丘1-4-1	0463-82-1400	単全 単定	総合 総合
	県立秦野曾屋	257-0031	秦野市曾屋3613-1	0463-82-4000	全	普通
厚木市	県立厚木	243-0031	厚木市戸室2-24-1	046-221-4078	全	普通
	県立厚木東	243-0817	厚木市王子1-1-1	046-221-3158	全	普通
	県立厚木商業	243-0817	厚木市王子3-1-1	046-223-6669	全	総合ビジネス
	県立厚木北	243-0203	厚木市下荻野886	046-241-8001	全	普通、スポーツ科学
	県立厚木清南	243-0021	厚木市岡田1-12-1	046-228-2015	単全 単定 単通	普通 普通 普通
	県立厚木西	243-0123	厚木市森の里青山12-1	046-248-1705	全	普通
大和市	県立大和	242-0002	大和市つきみ野3-4	046-274-0026	全	普通
	県立大和南	242-0014	大和市上和田2557	046-269-5050	全	普通
	県立大和東	242-0011	大和市深見1760	046-264-1515	全	普通
	県立大和西	242-0006	大和市南林間9-5-1	046-276-1155	全	普通
伊勢原市	県立伊勢原	259-1142	伊勢原市田中1008-3	0463-95-2578	全 定	普通 普通
	県立伊志田	259-1116	伊勢原市石田1356-1	0463-93-5613	全	普通
海老名市	県立中央農業	243-0422	海老名市中新田4-12-1	046-231-5202	全	園芸科学、畜産科学、農業総合
	県立海老名	243-0422	海老名市中新田1-26-1	046-232-2231	全	普通
	県立有馬	243-0424	海老名市社家240	046-238-1333	全	普通
座間市	県立座間	252-0024	座間市入谷2-262	046-253-2011	全	普通
	県立座間総合	252-0013	座間市栗原2487	046-253-2920	単全	総合
	県立相模向陽館	252-0003	座間市ひばりが丘3-58-1	046-298-3455	単定	普通
南足柄市	県立足柄	250-0106	南足柄市怒田860	0465-73-0010	全	普通
綾瀬市	県立綾瀬	252-1134	綾瀬市寺尾南1-4-1	0467-76-1400	全	普通
	県立綾瀬西	252-1123	綾瀬市早川1485-1	0467-77-5121	全	普通
寒川町	県立寒川	253-0111	高座郡寒川町一之宮9-30-1	0467-74-2312	全	普通
大磯町	県立大磯	255-0002	中郡大磯町東町2-9-1	0463-61-0058	全	普通
二宮町	県立二宮	259-0134	中郡二宮町一色1363	0463-71-3215	全	普通
大井町	県立大井	258-0017	足柄上郡大井町西大井984-1	0465-83-4101	全	普通
山北町	県立山北	258-0111	足柄上郡山北町向原2370	0465-75-0828	全	普通
開成町	県立吉田島	258-0021	足柄上郡開成町吉田島281	0465-82-0151	単全	都市農業、食品加工、環境緑地
愛川町	県立愛川	243-0308	愛甲郡愛川町三増822-1	046-286-2871	全	普通

注「全」は全日制、「定」は定時制、「通」は通信制、「単」は単位制

## 資料編 17

### 神奈川県公立高等学校にかかる諸経費等 平成 29 年 12 月末日現在

#### (1) 受検料

区 分	県 立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
全日制の課程	2,200 円	2,200 円	2,200 円	2,200 円
定時制の課程	950 円	650 円	950 円	950 円
通信制の課程	無 料			

#### (2) 入学科

区 分	県 立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
全日制の課程	5,650 円	5,650 円	5,650 円	5,650 円
定時制の課程	2,100 円	1,200 円	2,100 円	2,100 円
通信制の課程	無 料			

#### (3) 授業料

区 分	県 立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
全日制の課程	118,800 円	118,800 円	118,800 円	118,800 円
定時制の課程	32,400 円	32,400 円	32,400 円	32,400 円
通信制の課程	1 単位の額 350 円（平日 登校講座により履修する場 合にあつては 1 単位の額 700 円）			

※ これ以外にも、生徒会費や P T A 会費などの経費がかかります。

※ 受検料及び入学科には全部または一部を減免する制度が、授業料には就学支援金制度があります（15-1 ページ参照）。

#### (4) 上記に関する問い合わせ先

上記については、各学校または下記の所属にお問い合わせください。

区 分	所 属 名	電 話 番 号
県 立	神奈川県教育委員会教育局行政部財務課	(045)210-8113（直通）
横 浜 市 立	横浜市教育委員会事務局指導部高校教育課	(045)671-3272（直通）
川 崎 市 立	川崎市教育委員会総務部学事課	(044)200-3264（直通）
横 須 賀 市 立	横須賀市教育委員会事務局学校教育部教育指導課	(046)822-8525（直通）

資料編18

こうほ 公募を行う県内の私立高等学校一覧

平成30年4月1日現在（見込）

所在地	学校名	課程学科	男女	問合せ先	所在地	学校名	課程学科	男女	問合せ先
横浜市	白鵬女子	普	女	045-581-6721	川崎市	大西学園	普	共	044-722-2332
鶴見区	聖ヨゼフ学園	普	女	581-8808	中原区	家	女		
	橘学苑	普	共	581-0063		法政大学第二	普	共	711-4354
	鶴見大学附属	普	共	581-6325	多摩区	日本女子大学附属	普	女	952-6705
	法政大学国際	普	共	571-4663	麻生区	桐光学園	普	共	987-0519
神奈川区	横浜創英	普	共	421-3121	相模原市	相模女子大学	普	女	042-742-1442
	捜真女学校	普	女	491-3686	南区	(光明学園)相模原	普	共	778-3333
南区	関東学院	普	共	231-1001		東海大学付属相模	普	共	742-1251
保土ヶ谷区	横浜清風	普	共	731-4361	中央区	麻布大学附属	普	共	757-2403
磯子区	横浜学園	普	共	751-6941	横須賀市	湘南学院	普	共	046-833-3433
金沢区	関東学院六浦	普	共	781-2525		三浦学苑	普、工	共	852-0284
	横浜	普	男	781-3396		緑ヶ丘女子	普	女	822-1651
	横浜創学館	普	共	781-0631		横須賀学院	普	共	822-3218
港北区	慶應義塾	普	男	566-1381	平塚市	平塚学園	普	共	0463-22-0137
	高木学園女子	普、情他	女	431-8188	鎌倉市	鎌倉学園	普	共	0467-22-0994
	日本大学	普	共	560-2600		北鎌倉女子学園	普、音	女	22-6900
	武相	普	男	401-9042		鎌倉女子大学	普	女	44-2113
	清心女子	通	女	421-8864	藤沢市	鶴沼	普	共	0466-22-4783
栄区	山手学院	普	共	891-2111		湘南工科大学附属	普	共	34-4114
泉区	秀英	通	男	806-2100		日本大学藤沢	普	共	81-0123
旭区	横浜商科大	普、商	共	951-2246		藤嶺学園藤沢	普	男	23-3150
	星槎	普	共	442-8686		藤沢翔陵	普、商	男	81-3456
	横浜富士見丘学園	普	女	367-4380	小田原市	旭丘	普、総	共	0465-24-2227
緑区	横浜翠陵	普	共	921-0301		相洋	普、商	共	22-0211
瀬谷区	横浜隼人	普、国	共	364-5101	茅ヶ崎市	アレセイア湘南	普	共	0467-87-0132
青葉区	桐蔭学園	普	共	971-1411	逗子市	聖和学院	普、英	女	046-871-2670
都筑区	中央大学附属横浜	普	共	592-0801	厚木市	厚木中央	通	共	046-221-5678
					大和市	柏木学園	普	共	046-260-9011
					伊勢原市	向上	普	共	0463-96-0411
					松田町	立花学園	普	共	0465-83-1081
					箱根町	函嶺白百合学園	普	女	0460-87-6611

注1 課程学科欄の「通」は通信制で、それ以外はすべて全日制です。

注2 課程学科欄の「普」は普通、「商」は商業、「情」は情報、「国」は国際語、「家」は家庭、「音」は音楽、「工」は工業技術、「総」は総合、「英」は英語の各学科です。

注3 課程学科欄の「他」は、この他にも学科があることを表しています。

注4 学校名欄の「※」は、入学資格として不登校や学習障害等の一定の条件があることを示しています。

公募を行う県内の専修学校高等課程一覧

平成30年4月1日現在（見込）

3年制							
学校名	郵便番号	所在地	電話番号	分野	学科	男女	
横浜デザイン学院	220-0051	横浜市西区中央1-33-6	045-323-0300	文化教養	総合デザイン科	共	
岩谷学園高等専修学校	220-0023	横浜市西区平沼1-38-19	045-324-5867	商業実務	メディア・情報科	共	
ヨコスカ調理製菓門学校	238-0042	横須賀市汐入町2-9	046-826-3848	衛生	調理師普通科	共	
専門学校国際新堀芸術学院	251-0052	藤沢市藤沢143-13	0466-23-8338	文化教養	音楽科	共	
アイム湘南理容美容専門学校	257-0011	秦野市尾尻536-1	0463-85-3780	衛生	美容科	共	
				衛生	理容科	共	
専門学校神奈川総合大学校	243-0032	厚木市恩名1-17-18	046-221-5678	工業	工業技術学科	共	
				服飾家政	生活造形学科	共	
大和商业高等専修学校	242-0012	大和市深見東1-1-9	046-262-0122	商業実務	総合ビジネス科	共	
生蘭高等専修学校	252-1121	綾瀬市小園1520	0467-76-1616	商業実務	総合ビジネス科	共	

1年制及び夜間							
学校名	郵便番号	所在地	電話番号	分野	学科	男女	
横浜調理師専門学校	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町3-31-4	045-311-4126	衛生	調理師科	共	
国際フード製菓専門学校	220-0004	横浜市西区北幸2-9-6	045-313-4411	衛生	製菓製パン科	共	
横浜理容美容専門学校	222-0001	横浜市港北区樽町2-6-11	045-541-0567	衛生	理容科	共	
相模原調理師専門学校	252-0239	相模原市中央区中央5-8-1	042-758-0850	衛生	調理師養成科	共	
ヨコスカ調理製菓専門学校	238-0042	横須賀市汐入町2-9	046-826-3848	衛生	調理師本科	共	
厚木調理師学校	243-0018	厚木市中町2-2-19	046-221-0719	衛生	調理学科	共	

	学 校 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地	視	聴	知	肢	病	幼	小	中	高	専
1	県立平塚盲学校	0463-31-0948	254-0047	平塚市追分 10-1	○					○	○	○	○	○
2	横浜市立盲特別支援学校	045-431-1629	221-0005	横浜市神奈川区松見町 1-26	○					○	○	○	○	○
3	学校法人横浜訓盲学院	045-641-2626	231-0847	横浜市中区竹之丸 181	○					○	○	○	○	○
4	県立平塚ろう学校	0463-32-0129	254-0074	平塚市大原 2-1		○				○	○	○	○	○
5	横浜市立ろう特別支援学校	045-335-0411	240-0067	横浜市保土ヶ谷区常盤台 81-1		○				○	○	○	○	
6	川崎市立聾学校	044-766-6500	211-0053	川崎市中原区上小田中 3-10-5		○				○	○	○	○	
7	横須賀市立ろう学校	046-834-1172	238-0023	横須賀市森崎 5-13-1		○				○	○	○	○	
8	県立鶴見養護学校	045-573-4787	230-0071	横浜市鶴見区駒岡 4-40-1			○				○	○	○	
	分教室〔岸根高校内〕	045-439-3050	222-0034	横浜市港北区岸根町370			○						○	
9	県立横浜南養護学校	045-712-4046	232-0066	横浜市南区六ツ川 2-138-4					○		○	○	※	
	県立保土ヶ谷養護学校	045-714-0126	240-0026	横浜市保土ヶ谷区権太坂 1-8-1			○				○	○	○	
10	分教室〔舞岡高校内〕	045-823-9654	244-0814	横浜市戸塚区南舞岡3-36-1			○						○	
	分教室〔横浜平沼高校内〕	045-328-2010	220-0073	横浜市西区岡野1-5-8			○						○	
11	県立金沢養護学校	045-770-0456	236-0051	横浜市金沢区富岡東2-6-1			○	○			○	○	○	
	分教室〔氷取沢高校内〕	045-778-1065	235-0043	横浜市磯子区氷取沢町938-2			○						○	
12	県立みどり養護学校	045-471-7941	226-0002	横浜市緑区東本郷 5-18-1			○				○	○	○	
	分教室〔新栄高校内〕	045-591-6443	224-0035	横浜市都筑区新栄町1-1			○						○	
13	県立横浜ひなたやま支援学校	045-300-5611	246-0034	横浜市瀬谷区南瀬谷2-20			○						○	
	県立瀬谷養護学校	045-302-1616	246-0005	横浜市瀬谷区竹村町 28-1			○				○	○	○	
14	分教室〔大和東高校内〕	046-264-2061	242-0011	大和市深見1760			○						○	
	分教室〔大和南高校内〕	046-279-6577	242-0014	大和市上和田2557			○						○	
15	県立三ツ境養護学校	045-365-3711	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町468			●	○			○	○	○	
	分教室〔瀬谷西高校内〕	045-300-0052	246-0004	横浜市瀬谷区中屋敷2-2-5			○						○	
16	県立中原養護学校	044-755-1632	211-0035	川崎市中原区井田 3-13-1			●	○			○	○	○	
	分教室〔住吉高校内〕	044-430-1016	211-0021	川崎市中原区木月住吉町34-1			○						○	
17	県立高津養護学校	044-865-0477	213-0035	川崎市高津区向ヶ丘 16			○				○	○	○	
	分教室〔生田東高校内〕	044-931-1020	214-0038	川崎市多摩区生田4-32-1			○						○	
	分教室〔川崎北高校内〕	044-870-1040	216-0003	川崎市宮前区有馬3-22-1			○						○	
18	県立麻生養護学校	044-980-4850	215-0013	川崎市麻生区王禅寺303-1			○	○			○	○	○	
	分教室〔元石川高校内〕	045-905-0037	225-0004	横浜市青葉区元石川町4116			○						○	
19	県立相模原養護学校	042-778-0331	252-0336	相模原市南区当麻 814			○				○	○	○	
	分教室〔橋本高校内〕	042-700-1621	252-0143	相模原市緑区橋本8-8-1			○						○	
20	県立津久井養護学校	042-684-4860	252-0175	相模原市緑区若柳44			○	○			○	○	○	
21	県立相模原中央支援学校	042-768-8510	252-0221	相模原市中央区高根1-5-36	○	○				○	○	○		
	県立武山養護学校	046-856-5800	238-0313	横須賀市武 3-35-1			○	○			○	○	○	
	分教室〔津久井浜高校内〕	046-848-2137	239-0843	横須賀市津久井4-4-1			○						○	
23	県立岩戸養護学校	046-839-4500	239-0844	横須賀市岩戸5-6-5			○	○					○	
24	県立平塚養護学校	0463-58-0456	259-1215	平塚市寺田縄 590			○	○			○	○	○	
25	県立湘南養護学校	0463-34-7212	254-0061	平塚市御殿 4-14-1			○				○	○	○	
26	県立鎌倉養護学校	0467-45-1482	247-0075	鎌倉市関谷 566			●	○			○	○	○	
	分教室〔金井高校内〕	045-852-4722	244-0845	横浜市栄区金井町100			○						○	
27	県立藤沢養護学校	0466-82-8101	252-0813	藤沢市亀井野 2547-19			○				○	○	○	
	分教室〔鎌倉高校内〕	0467-32-8721	248-0026	鎌倉市七里ガ浜2-21-1			○						○	
28	県立小田原養護学校	0465-37-2755	250-0865	小田原市蓮正寺 1021			○	○			○	○	○	
	分教室〔大井高校内〕	0465-86-0040	258-0017	足柄上郡大井町西大井984-1			○						○	
29	県立茅ヶ崎養護学校	0467-57-5379	253-0083	茅ヶ崎市西久保 29-1			○	○			○	○	○	
30	県立秦野養護学校	0463-81-0948	257-0025	秦野市落合 500			●		○		○	○	○	
31	県立伊勢原養護学校	0463-93-7916	259-1116	伊勢原市石田 1390			○				○	○	○	
	分教室〔伊志田高校内〕	0463-93-0082	259-1116	伊勢原市石田 1356-1			○						○	
	県立座間養護学校	046-255-2251	252-0024	座間市入谷 2-314-1			●	○			○	○	○	
32	分教室〔有馬高校内〕	046-238-1349	243-0424	海老名市社家240			○						○	
	分教室〔相模向陽館高校内〕	046-298-0038	252-0003	座間市ひばりが丘3-58-1			○						○	
33	県立えびな支援学校	046-292-5612	243-0422	海老名市中新田4-5-1			○	○			○	○	○	

	学 校 名	電 話 番 号	郵 便 番 号	所 在 地	視	聴	知	肢	病	幼	小	中	高	専
34	横浜市立港南台ひの特別支援学校	045-830-5826	234-0054	横浜市港南区港南台5-3-2			○				○	○	○	
35	横浜市立本郷特別支援学校	045-894-2952	247-0007	横浜市栄区小菅ヶ谷 3-37-12			○				○	○	○	
36	横浜市立日野中央高等特別支援学校	045-844-3015	234-0053	横浜市港南区日野中央 2-25-3			○						○	
37	横浜市立二つ橋高等特別支援学校	045-391-2131	246-0021	横浜市瀬谷区二つ橋町 470			○						○	
38	横浜市立上菅田特別支援学校	045-382-0420	240-0051	横浜市保土ヶ谷区上菅田町 462				○			○	○	○	
39	横浜市立若葉台特別支援学校	045-923-1300	241-0801	横浜市旭区若葉台2-1-1			●	○			○	○	○	
40	横浜市立中村特別支援学校	045-261-9863	232-0033	横浜市南区中村町 4-269-1				○			○	○	○	
41	横浜市立北綱島特別支援学校	045-545-0126	223-0053	横浜市港北区綱島西 5-14-54				○			○	○	○	
42	横浜市立東俣野特別支援学校	045-851-9631	245-0065	横浜市戸塚区東俣野町 1103-1				○			○	○	○	
43	横浜市立浦舟特別支援学校	045-243-2624	232-0024	横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設11階					○		○	○		
44	川崎市立中央支援学校	044-844-1275	213-0011	川崎市高津区久本 3-7-1			○					○	○	
	分教室(高等部・川崎市立豊学校内)	044-755-5666	211-0053	川崎市中原区上小田中3-10-5			○						○	
	大戸分教室(小学部・川崎市立大戸小学校内)	044-766-3868	211-0041	川崎市中原区下小田中1-4-1			○	○			○			
	稲田分教室(小学部・川崎市立稲田小学校内)	044-922-5735	214-0021	川崎市多摩区宿河原3-18-1			○	○			○			
45	川崎市立田島支援学校(高等部)	044-355-1240	210-0853	川崎市川崎区田島町 20-5			○	○					○	
	川崎市立田島支援学校桜校(小・中学部)	044-299-2861	210-0832	川崎市川崎区池上新町1-1-3			○	○			○	○		
46	横須賀市立養護学校	046-849-6465	239-0844	横須賀市岩戸 5-6-4				○			○	○		
47	藤沢市立白浜養護学校	0466-33-1500	251-0046	藤沢市辻堂西海岸 1-2-2			○				○	○	○	
48	学校法人聖坂学院聖坂養護学校	045-622-2974	231-0862	横浜市中区山手町 140			○				○	○	○	○
49	筑波大学附属久里浜特別支援学校	046-848-3441	239-0841	横須賀市野比 5-1-2			○			○	○			
50	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校	045-742-2291	232-0061	横浜市南区大岡 2-31-3			○				○	○	○	

注 幼(幼稚部)、小(小学部)、中(中学部)、高(高等部)、専(専攻科)の略

注 ●知的障害教育部門は高等部のみ

注 ※横浜南養護学校の高等部は訪問教育のみ

注 病弱教育部門がある学校は、本校の電話番号、郵便番号、所在地のみを掲載

## 資料編20

## 県立中等教育学校一覧

平成30年4月1日現在

市町村区	学校名	郵便番号	所在地	電話番号
相模原市南区	相模原中等教育学校	252-0303	相模原市南区相模大野4-1-1	042-749-1279
平塚市	平塚中等教育学校	254-0074	平塚市大原1-13	0463-34-0320

## 県立職業技術校等一覧

名称	郵便番号	所在地	電話番号	訓練期間		
				6ヶ月	1年	2年
東部総合職業技術校 (かなテクカレッジ東部)	230-0034	横浜市鶴見区寛政町28-2	045-504-2810	○	○	○
西部総合職業技術校 (かなテクカレッジ西部)	257-0045	秦野市桜町2-1-3	0463-80-3002	○	○	○
神奈川障害者職業能力開発校	252-0315	相模原市南区桜台13-1	042-744-1243	○	○	○

※訓練期間が2年及び1年の一部のコースは、新規に中学校を卒業される方は応募できません。

## 県内のハローワーク所在地一覧

(ハローワークとは公共職業安定所の愛称です)

所名	郵便番号	所在地	電話番号	管轄区域
ハローワーク横浜	231-0023	横浜市中区山下町209 帝蚕閣内ビル	045-663-8609	横浜市のうち神奈川区、西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区
ハローワーク港北	222-0033	横浜市港北区新横浜3-24-6 横浜港北地方合同庁舎	045-474-1221	横浜市のうち港北区、緑区、青葉区、都筑区
ハローワーク戸塚	244-8560	横浜市戸塚区戸塚町3722	045-864-8609	横浜市のうち戸塚区、泉区、瀬谷区、栄区
ハローワーク横浜南	236-8609	横浜市金沢区寺前1-9-6	045-788-8609	横浜市のうち金沢区、横須賀市の一部、逗子市、三浦郡
ハローワーク川崎	210-0015	川崎市川崎区南町17-2	044-244-8609	川崎市のうち川崎区、幸区、横浜市のうち鶴見区
ハローワーク川崎北	213-0011	川崎市高津区久本3-5-7 新溝ノロビル4F	044-777-8609	川崎市のうち中原区、高津区、多摩区、宮前区、麻生区
ハローワーク相模原	252-0236	相模原市中央区富士見6-10-10 相模原地方合同庁舎	042-776-8609	相模原市
ハローワーク横須賀	238-0013	横須賀市平成町2-14-19	046-824-8609	横須賀市の一部、三浦市
ハローワーク藤沢	251-0054	藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎	0466-23-8609	藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡、鎌倉市
ハローワーク平塚	254-0041	平塚市浅間町10-22 平塚地方合同庁舎	0463-24-8609	平塚市、伊勢原市、中郡
ハローワーク小田原	250-0012	小田原市本町1-2-17	0465-23-8609	小田原市、足柄下郡
ハローワーク厚木	243-0003	厚木市寿町3-7-10	046-296-8609	厚木市、海老名市、座間市、愛甲郡
ハローワーク大和	242-0018	大和市深見西3-3-21	046-260-8609	大和市、綾瀬市
ハローワーク松田	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領2037	0465-82-8609	秦野市、南足柄市、足柄上郡

ハローワークに関する案内のアドレス <http://kanagawa-hellowork.jsite.mhlw.go.jp/list.html>

# 資料編21

# 県内の教育相談機関

## 1 市町村の主な相談機関

平成30年3月31日現在

市町村名	相談機関名	住所	電話番号
横浜市	教育総合相談センター 一般教育電話相談 いじめ110番 学校生活あんしんダイヤル	横浜市中区真砂町2-12	045-671-3726 0120-671-388 045-633-1370
川崎市	総合教育センター	川崎市高津区溝口6-9-3 (溝口相談室) 川崎市幸区塚越1-60 (塚越相談室)	044-844-3700 044-541-3633
相模原市	青少年相談センター	相模原市中央区中央3-13-13 (センター) 相模原市南区相模大野5-31-1 (南相談室) 相模原市緑区久保沢1-3-1 (城山相談室) 相模原市緑区与瀬896 (相模湖相談室)	042-752-1658 042-749-2177 042-783-6188 042-682-7020
横須賀市	教育委員会 支援教育課 こども青少年支援課	横須賀市小川町11 (横須賀市役所本館 6階) 横須賀市小川町16 (はぐくみかん 5階)	046-822-6522 046-823-3152
鎌倉市	教育センター相談室  鎌倉市いじめ相談ダイヤル	鎌倉市御成町12-18	0467-24-3386 0467-24-3495 0467-24-5235
藤沢市	学校教育相談センター 子ども家庭課 藤沢市いじめ相談ホットライン	藤沢市善行7-7-24 藤沢市朝日町1-1	0466-90-0660 0466-50-3596 0466-25-2500
茅ヶ崎市	教育センター青少年教育相談室	茅ヶ崎市十間坂3-5-37	0467-86-9963
逗子市	教育研究相談センター	逗子市桜山5-20-29	046-872-9498 046-872-2898
三浦市	教育相談室・相談指導教室	三浦市原町15-29	046-881-3380
葉山町	教育研究所	葉山町堀内2050-9	046-875-7295 教育相談電話 046-875-7296
寒川町	学校教育課 教育研究室	寒川町宮山165	0467-73-4639
厚木市	青少年教育相談センター	厚木市中町3-16-1	046-221-8080
大和市	青少年相談室	大和市深見西1-2-17	046-260-5036
海老名市	教育支援センター	海老名市中新田392-1	046-234-8700
座間市	教育研究所教育相談	座間市緑ヶ丘1-1-1	046-259-2164
綾瀬市	教育研究所教育相談	綾瀬市早川550	0467-79-0222
愛川町	教育開発センター	愛川町角田251-1	046-206-1061
清川村	教育委員会事務局学校教育係	清川村煤ヶ谷2216	046-288-1215
平塚市	子ども教育相談センター 青少年相談室	平塚市浅間町4-39 教育相談電話 (相談専用) 平塚市見附町15-1	0463-36-6013 0463-34-7311
秦野市	教育委員会教育指導課 こども育成課こども若者相談担当	秦野市桜町1-3-2 秦野市緑町16-3	0463-84-2786 0463-82-5273
伊勢原市	教育センター教育相談	伊勢原市田中316-1	0463-94-8900
大磯町	教育研究所教育相談	大磯町西小磯286	0463-60-3670
二宮町	教育研究所 教育相談室・ 教育支援室「やまびこ」	二宮町二宮961	0463-72-2883
南足柄市	教育研究所教育相談 青少年育成センター	南足柄市関本440 南足柄市関本440	0465-73-8061 0465-72-1329
中井町	教育委員会教育相談 教育支援センター「たんぼぼ教室」	中井町比奈窪56 中井町井ノ口1843-1	0465-81-3906 0465-80-0080
大井町	教育委員会教育相談	大井町金子1995	0465-85-5015
松田町	教育委員会教育相談	松田町松田惣領2037	0465-83-7023
山北町	教育委員会教育相談	山北町山北1301-4	0465-75-3648
開成町	教育委員会教育相談	開成町延沢773	0465-82-5221
小田原市	教育指導課教育相談	小田原市荻窪300	0465-33-1729
箱根町	教育支援室	箱根町湯本266	0460-85-7776
真鶴町	教育支援センター	真鶴町岩172-8	0465-68-1920
湯河原町	青少年相談室 学校教育課教育相談	湯河原町中央2-21-3 湯河原町中央2-21-3	0465-63-6300 0465-62-1100

## 2 県の主な相談機関

相談機関名	住所	電話番号
県立総合教育センター (亀井野庁舎) 総合教育相談 24時間子どもSOSダイヤル	藤沢市亀井野2547-4	0466-81-0185 0466-81-8111



神奈川県

教育委員会教育局支援部子ども教育支援課

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 (045) 210-1111